

2026年3月期 決算説明会資料

株式会社オービックビジネスコンサルタント(証券コード:4733)

2026年4月22日

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。
又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



Index

1. 2026年3月期 第4四半期 主要な指標 P. 2
 2. 2026年3月期 年度決算の概況 P. 10
 3. 2027年3月期 事業計画 P. 16
 4. 2027年3月期 事業戦略 P. 20
- Appendix P. 44

1. 2026年3月期 第4四半期 主要な指標

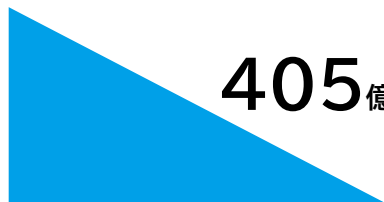


主要な指標

ARR^{※1}

457 億円('26.3月末)

405 億円('25.3月末)



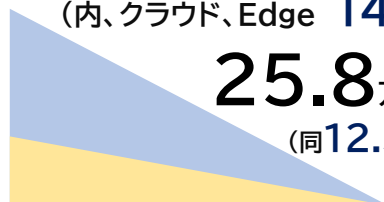
稼働システム数^{※3}

27.5 万システム('26.3月末)

(内、クラウド、Edge 14.7万システム)

25.8 万システム('25.3月末)

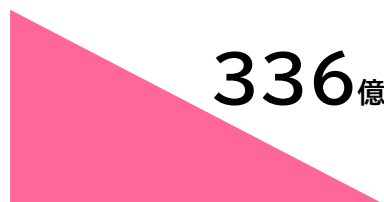
(同12.3万システム)



前受収益残高

358 億円('26.3月末)

336 億円('25.3月末)



売上高

514 億円 ('26.3月期
4Q累計)

470 億円 ('25.3月期
4Q累計)



クラウドARPU^{※2}

579 千円('26.3月末)

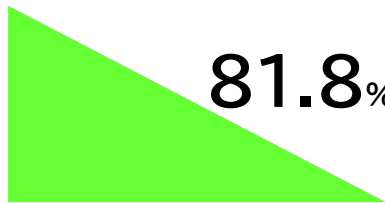
534 千円('25.3月末)



継続収益比率^{※4}

83.9% ('26.3月期)

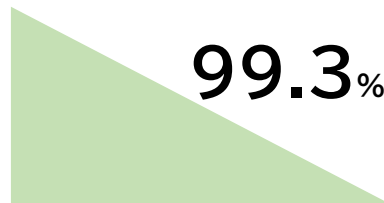
81.8% ('25.3月期)



契約継続率^{※5}

99.4% ('25.12月期)

99.3% ('24.12月期)



営業利益

236 億円 ('26.3月期
4Q累計)

217 億円 ('25.3月期
4Q累計)



※1 :ARR(Annual Recurring Revenue) = 各四半期末月のMRRの12倍で計算。

MRR(Monthly Recurring Revenue) = 月額継続収益(契約により一定期間にわたり計上される売上、すなわち、「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」の月額売上金額の合計)。

※2 :ARPU(Average Revenue Per User) = クラウド(SaaS、IaaS、奉行クラウドEdge)を利用している企業の1企業あたり月額平均単価の12倍で計算。

※3 :稼働システム数は、単数もしくは複数のライセンスを1つの単位として納入したシステムを1単位とした数。

※4 :継続収益(「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」の月額売上高の合計)を全社売上高で除して算出。

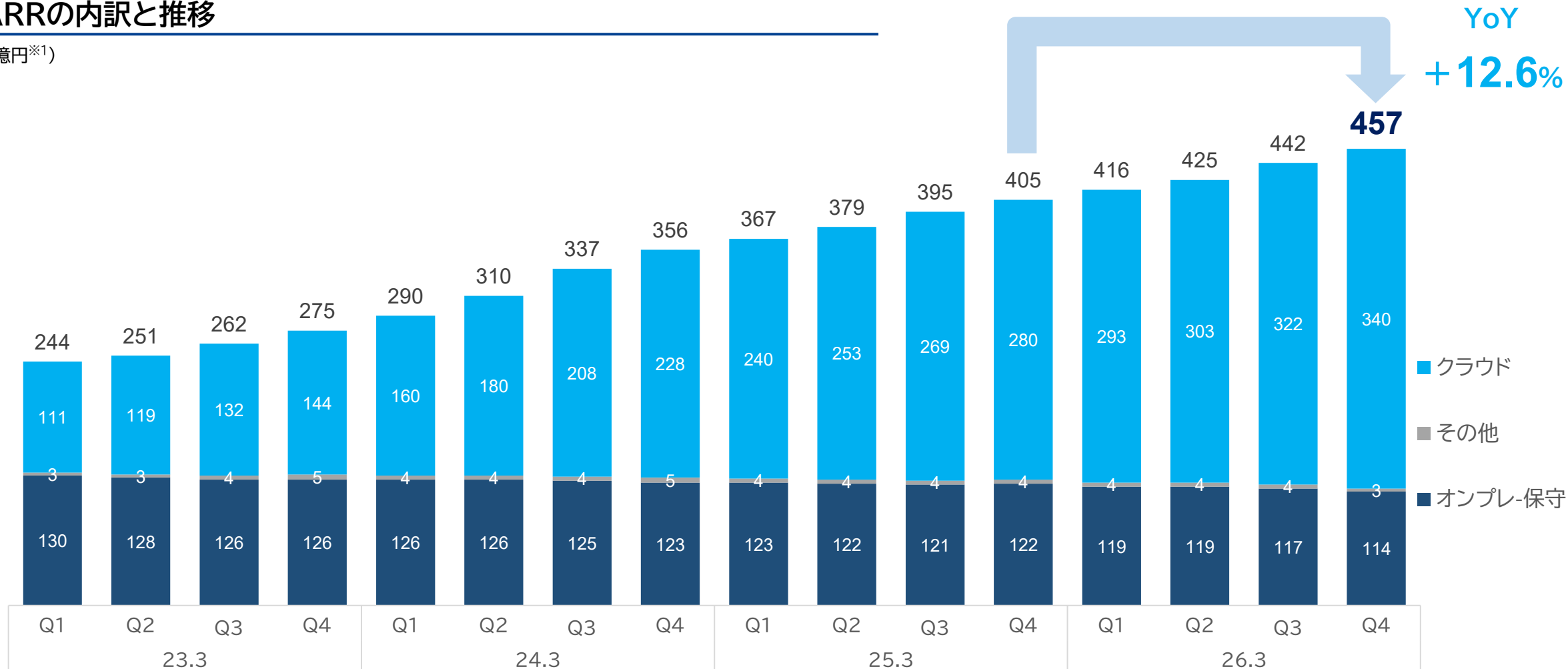
※5 :継続収益型サービス(「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」)を対象に、月次解約率(=当月解約により減少するMRR÷前月のMRR)の年間平均より契約継続率を算出。

ARRの推移

クラウドユーザー伸長により、前期比12.6%の増加

ARRの内訳と推移

(億円※1)



※1: 億円未満四捨五入

クラウド収益の推移

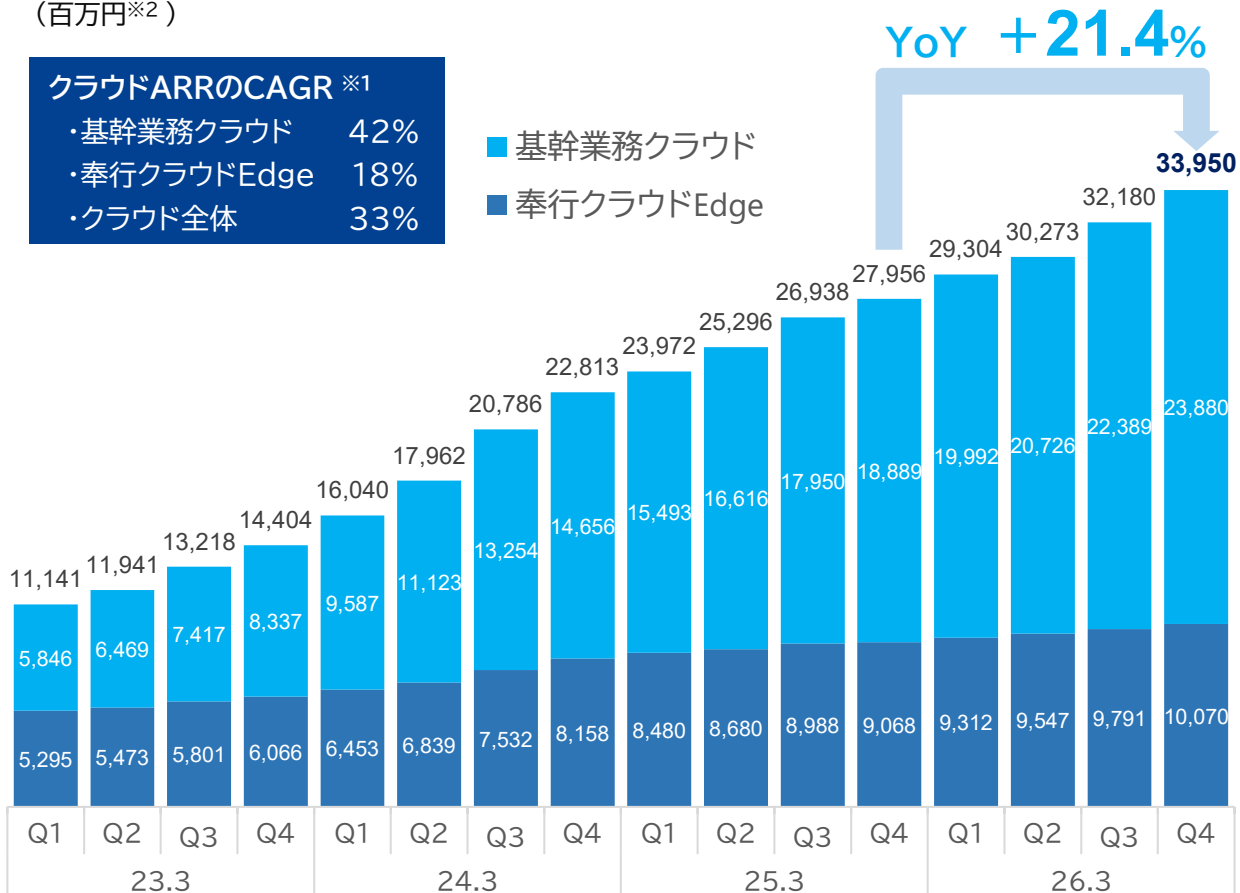
クラウドARR・売上高いずれも成長を継続、SaaSの伸びが牽引

クラウドARRの推移と年間平均伸び率(CAGR)※1

(百万円※2)

クラウドARRのCAGR ※1

- ・基幹業務クラウド 42%
- ・奉行クラウドEdge 18%
- ・クラウド全体 33%

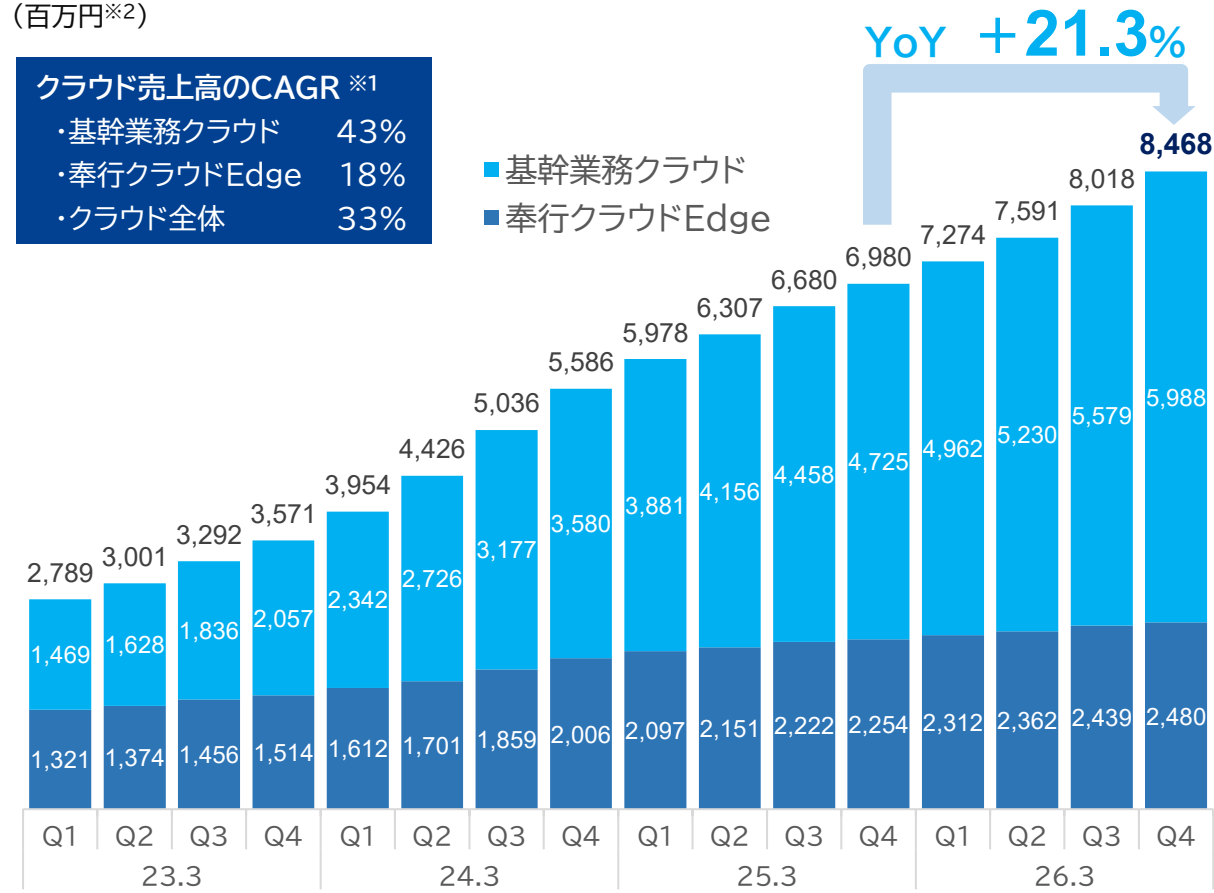


クラウド四半期売上高の推移と年間平均伸び率(CAGR)※1

(百万円※2)

クラウド売上高のCAGR ※1

- ・基幹業務クラウド 43%
- ・奉行クラウドEdge 18%
- ・クラウド全体 33%



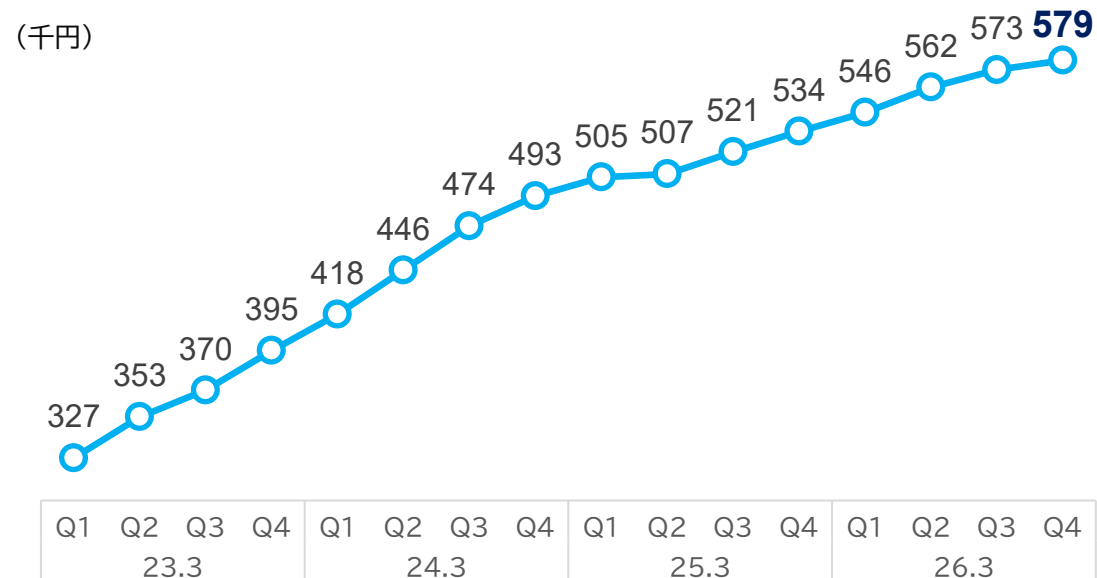
※1: 2023年3月期Q4から2026年3月期Q4の年間平均伸び率(Compound Annual Growth Rate)

※2: 百万円未満四捨五入

クラウドARPU・クラウド稼働システム数の推移

ARPUは高単価製品のウエイト増加が成長を牽引、クラウド稼働システム数は堅調に増加を継続

クラウドARPUの推移



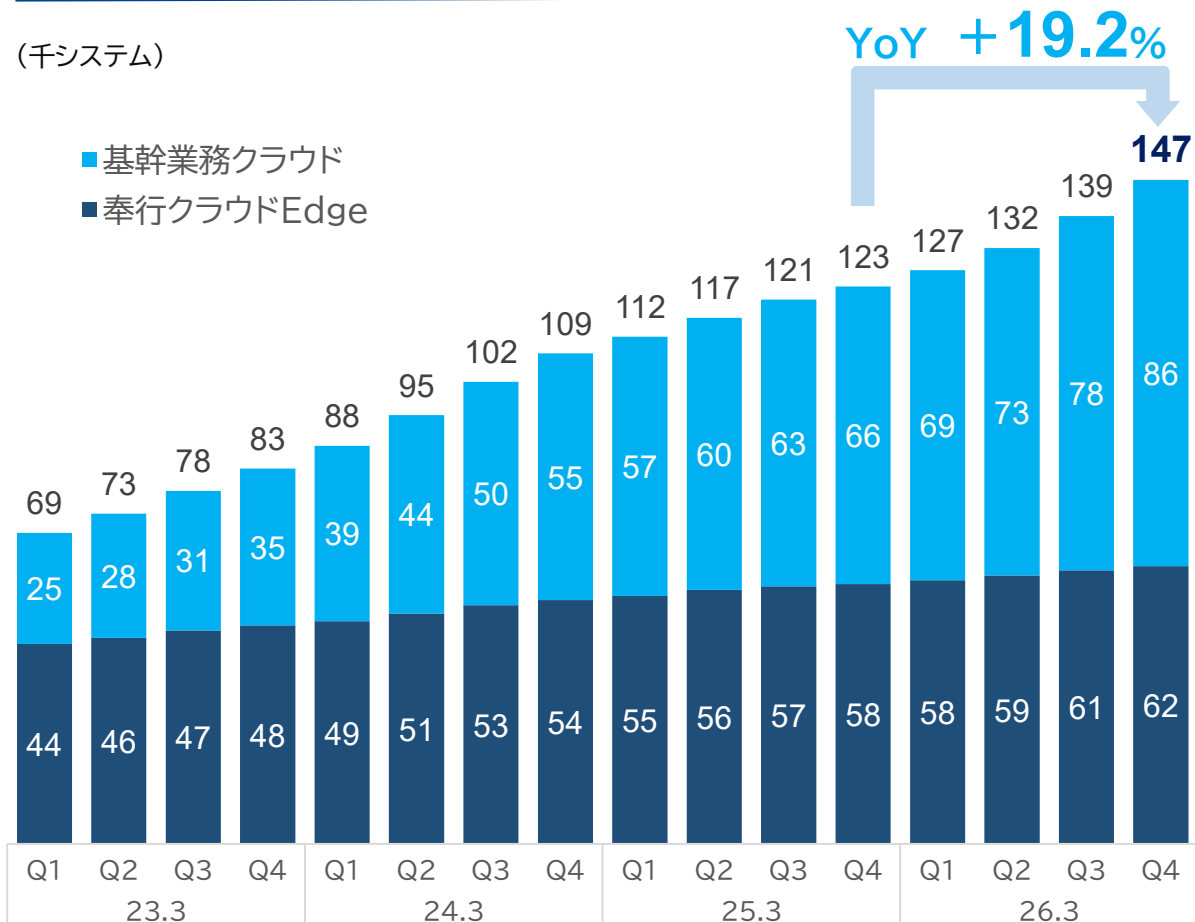
【参考】ソリューション別平均単価 ※1

基幹業務クラウド	SaaS	奉行クラウドi	20.9万円/年
		奉行クラウド V ERP	81.3万円/年
		奉行クラウド DX Suite	136.5万円/年
	IaaS		91.4万円/年
奉行クラウドEdge			16.2万円/年

※1: 26年3月末のARR÷12月末契約数×12で算出。継続契約における年間金額。

クラウド稼働システム数の推移※2

(千システム)



※2: クラウドの全利用システム数(オプション等含む)

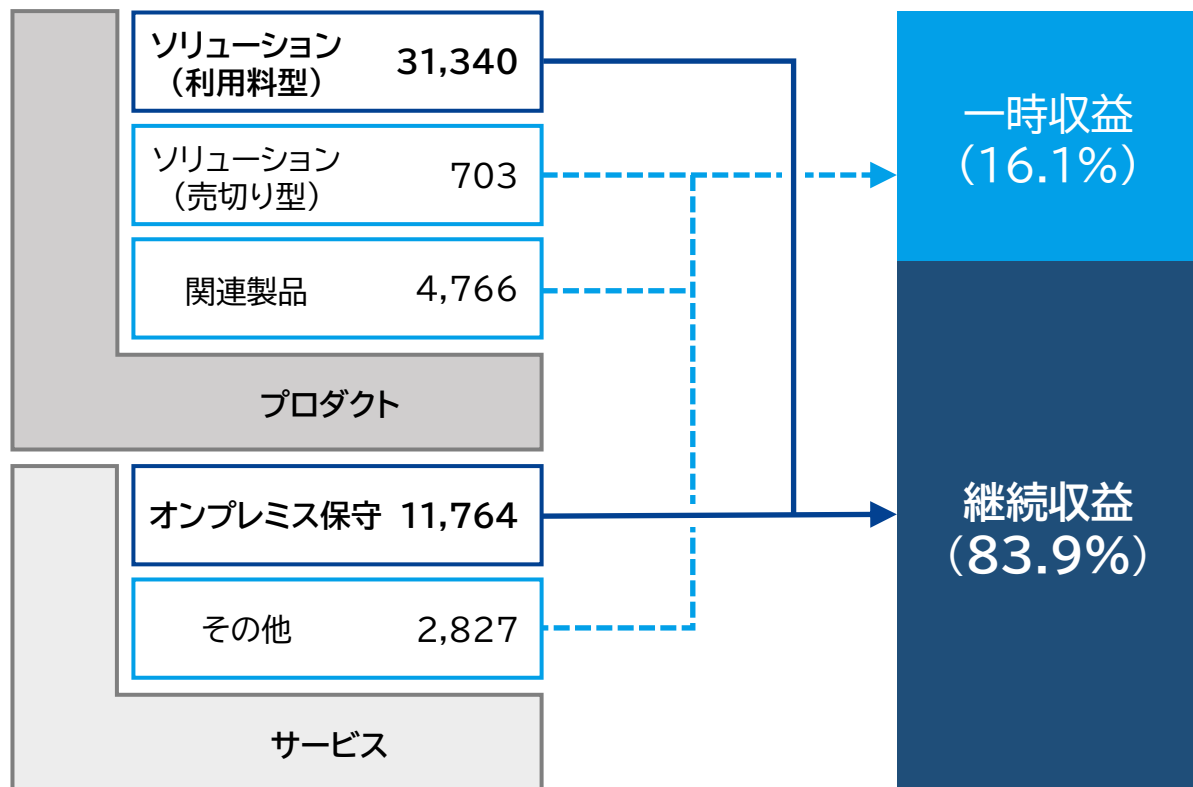
奉行クラウド DX Suiteは、基幹業務クラウドと奉行クラウドEdge複数サービスをセットで1システムとカウントし、基幹業務クラウドに含める

継続収益比率

クラウド増加により継続収益が順調に拡大

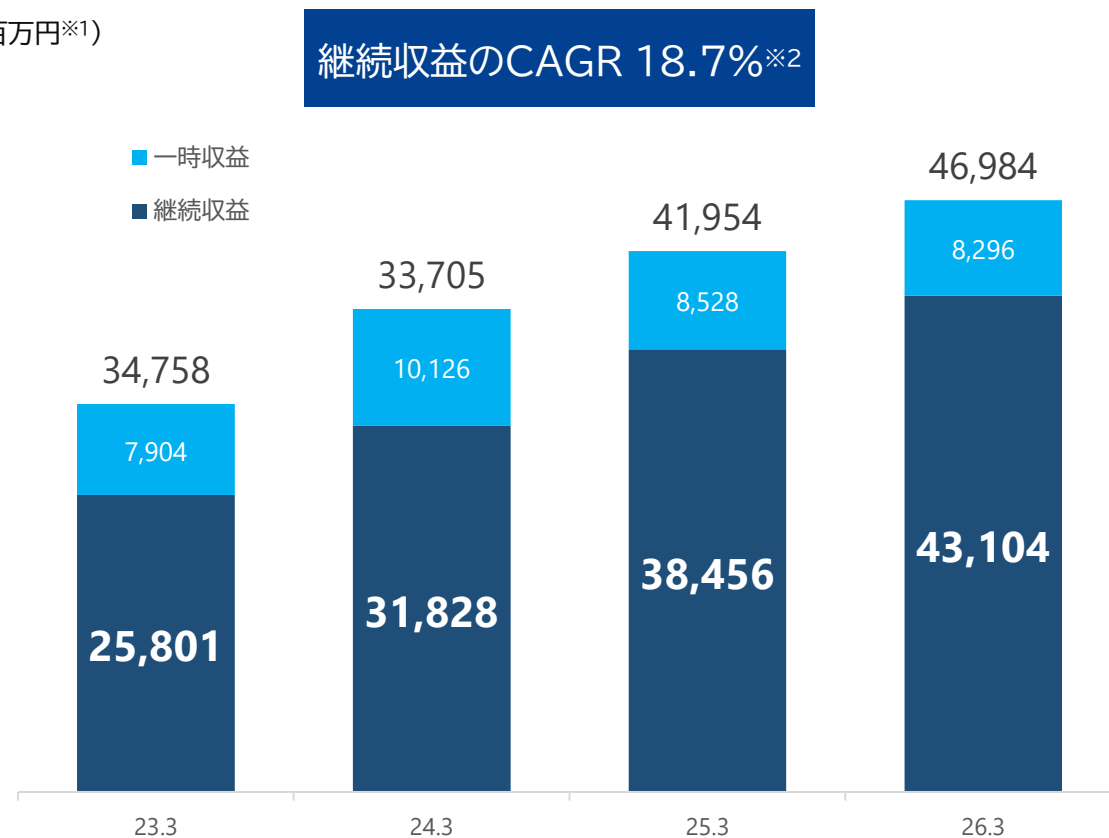
2026年3月期4Q累計の売上構成比

(百万円※1)



継続収益の推移

(百万円※1)



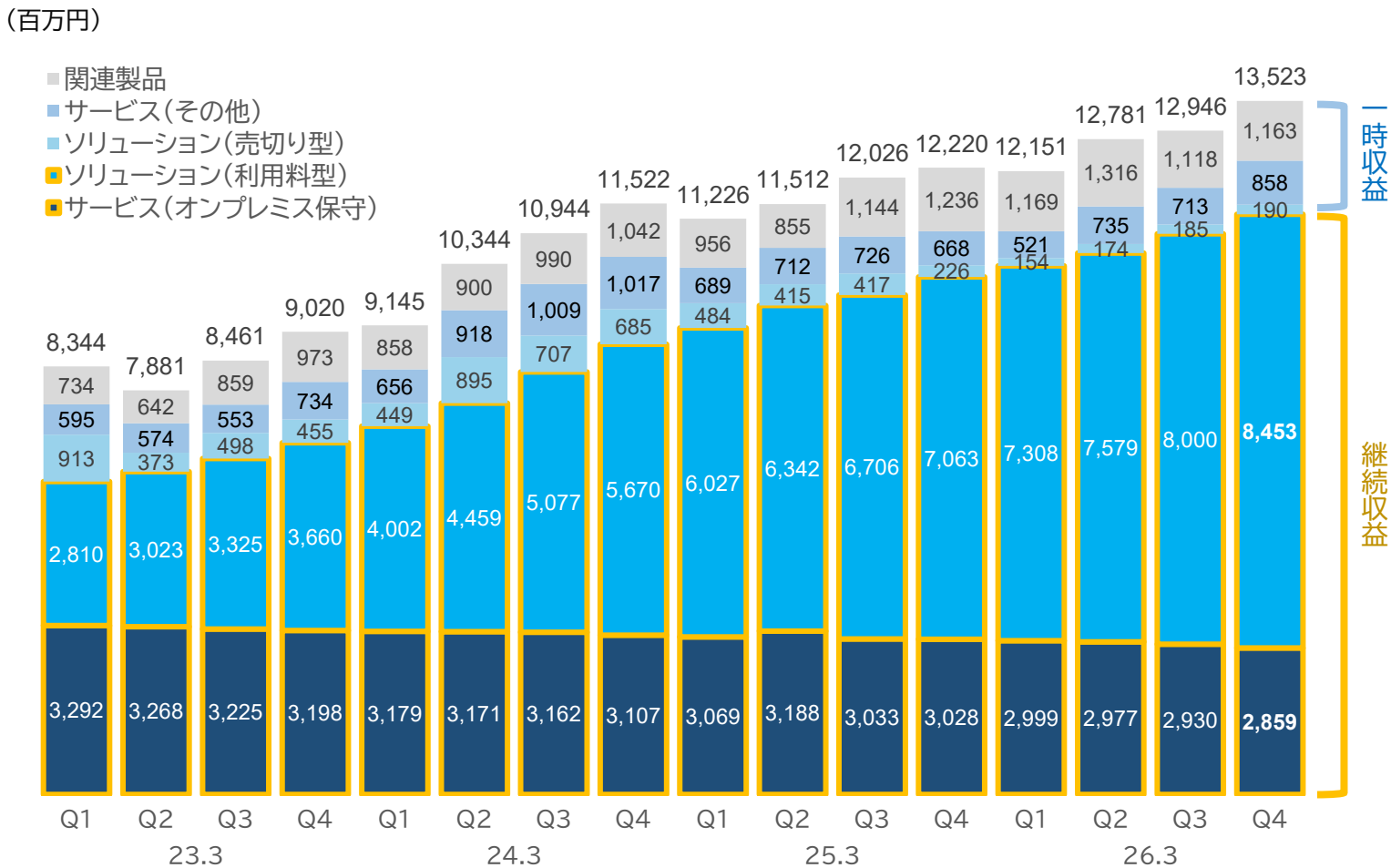
※1:百万円未満四捨五入

※2:2023年3月期から2026年3月期の年間平均伸び率(Compound Annual Growth Rate)

売上構成・営業利益の推移

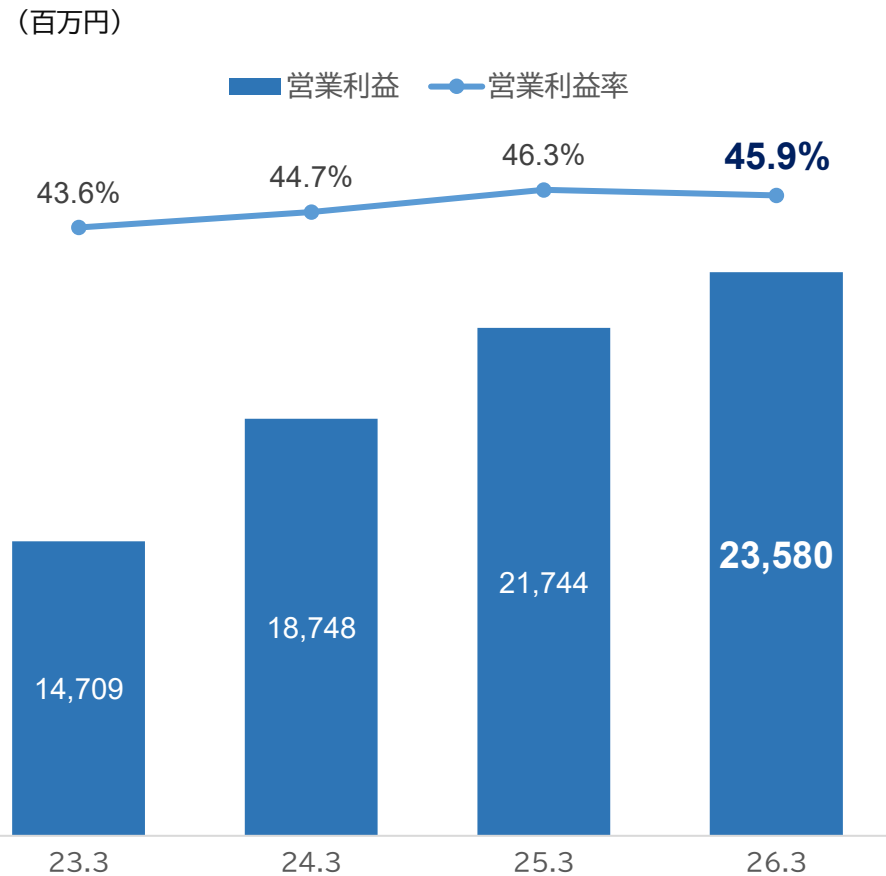
クラウド増加により継続収益が順調に拡大

売上構成の推移※1(四半期単位)



※1:百万円未満四捨五入

営業利益と営業利益率※2の推移



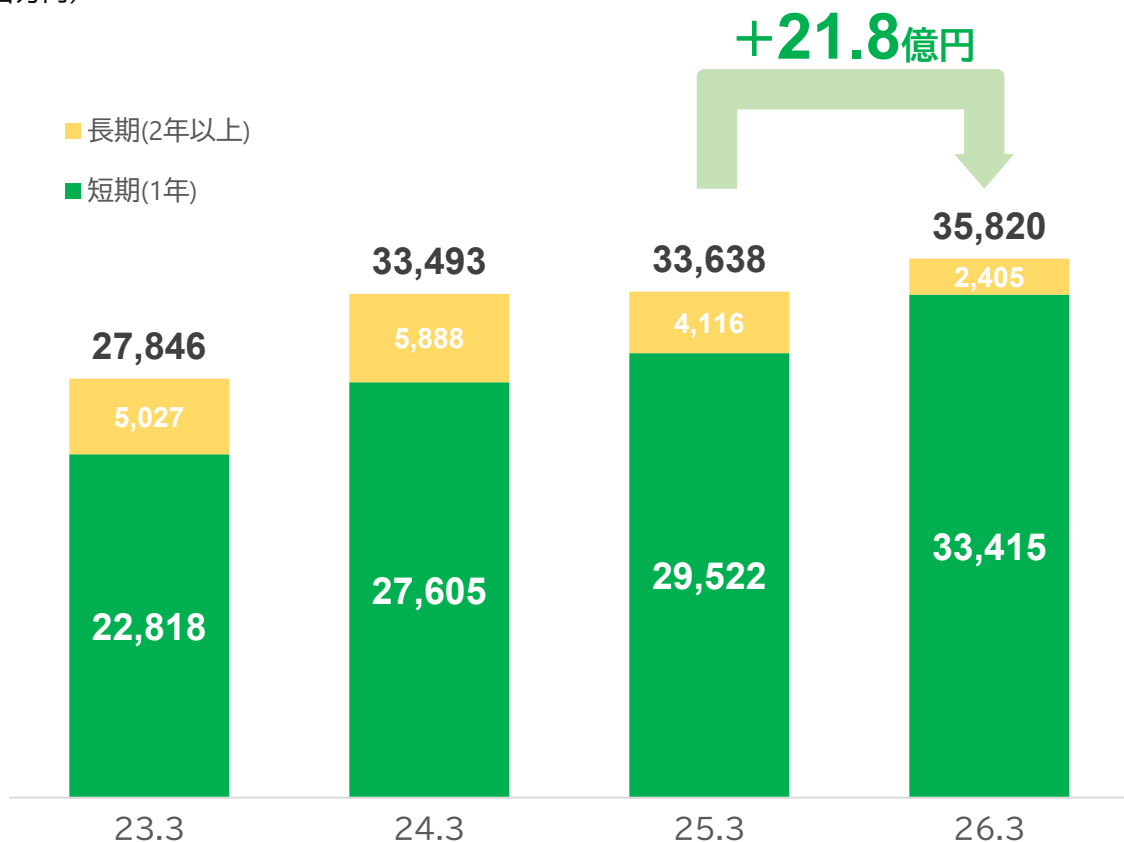
※2:営業利益率=営業利益/売上高

前受収益残高と契約継続率の推移

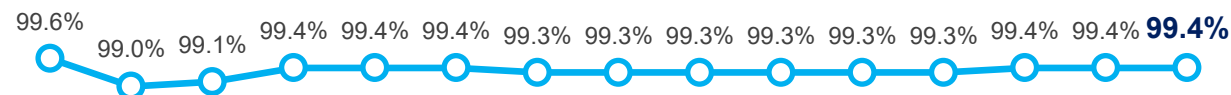
長期契約廃止の影響は一巡し、前受収益残高は増加へ転換。契約継続率は高水準を維持。

前受収益残高の推移

(百万円)



契約継続率の推移



Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
	23.3			24.3				25.3				26.3		

2. 2026年3月期 年度決算の概況



損益計算書

(百万円)	25/3期 通期			26/3期 通期		対前年同期		
	構成比(%)	計画	構成比(%)	増減額	増減率(%)			
売上高	46,984	100.0	51,700	51,400	100.0	4,416	9.4	売上高 ◆ 売上高 4,416百万円増(対前年9.4%増)
売上総利益	39,337	83.7	43,123	43,505	84.6	4,167	10.6	売上総利益 ◆ 売上総利益 4,167百万円増(対前年10.6%増) ◆ 売上高全体の中で相対的に利益率が高いソリューション売上高が占める構成比率が、59%から62%へと伸長した影響に加え、インストラクター指導の外注委託費減少により、売上総利益率が0.9ポイント良化
販売管理費	17,593	37.4	19,123	19,924	38.8	2,330	13.2	営業利益 ◆ 販売管理費 2,330百万円増(対前年13.2%増) ◆ 営業利益 1,836百万円増(対前年8.4%増)
営業利益	21,744	46.3	24,000	23,580	45.9	1,836	8.4	
営業外損益	1,300	2.8	1,000	1,637	3.2	337	25.9	経常利益 ◆ 受取利息 365百万円(前期50百万円) ◆ 受取配当金 1,204百万円(前期1,182百万円)
経常利益	23,044	49.0	25,000	25,218	49.1	2,173	9.4	
当期純利益	16,182	34.4	17,350	18,132	35.3	1,949	12.0	当期純利益 ◆ 当期純利益 1,949百万円増(対前年12.0%増)

売上高の品目別内訳

(百万円)	25/3期 通期			26/3期 通期		
	構成比(%)	計画		構成比(%)	前期比(%)	
ソリューション	27,680	58.9	32,621	32,043	62.3	15.8
クラウド	25,943	55.2		31,351	61.0	20.8
基幹業務クラウド(SaaS,IaaS)	17,219	36.7		21,758	42.3	26.4
奉行クラウドEdge	8,723	18.6		9,592	18.7	10.0
オンプレミス(基幹業務システム)	1,736	3.7		692	1.3	△60.1
関連製品	4,191	8.9	4,322	4,766	9.3	13.7
サービス	15,112	32.2	14,757	14,591	28.4	△3.5
オンプレミス保守	12,318	26.2		11,764	22.9	△4.5
その他(インスト指導等)	2,794	6.0		2,826	5.5	1.2
合計	46,984	100.0	51,700	51,400	100.0	9.4

対前年同期比の主な内容

■ ソリューション

- ✓ 中小企業向けの奉行iクラウド、中堅・上場企業向けの奉行V ERPクラウド及び奉行クラウドDX suiteは共に堅調に推移
- ✓ 4Qより、奉行11(オンプレミス)のサポート終了(2027年4月)に伴い、クラウド移行がやや加速

■ 関連製品

- ✓ 奉行連動ソリューション売上が299百万円増加
- ✓ IaaSモデル環境構築新価格切替による増加436百万円

■ サービス

- ✓ オンプレミス奉行製品ユーザー様の奉行クラウド製品への切替等を背景として、オンプレミス保守売上が553百万円減少
- ✓ 指導料売上34百万円増加

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)	25/3期 通期		26/3期 通期		
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	前期比(%)
売上高	46,984	100.0	51,400	100.0	9.4
販売費及び一般管理費	17,593	37.4	19,924	38.8	13.2
販管人件費	5,360	11.4	5,851	11.4	9.2
研究開発費	4,059	8.6	4,428	8.6	9.1
広告宣伝費	2,557	5.4	3,097	6.0	21.1
地代家賃	774	1.6	898	1.7	16.0
減価償却費	300	0.6	562	1.1	87.4
その他経費	4,541	9.7	5,085	9.9	12.0

対前期比の主な内容

- 販管人件費、研究開発費
 - ✓ 人員増(‘25年4月新卒採用104名)に加え、給与のベースアップ等により、人件費が増加
- 広告宣伝費
 - ✓ グラント浸透のため戦略的に強化
- 地代家賃
 - ✓ 本社707増床により、123百万円増加
- 減価償却費
 - ✓ 新デジタルコミュニケーションプラットフォーム「奉行LAND」を初めとしたソフトウェア増加により、262百万円増加
- その他経費
 - ✓ 展示会費が246百万円増加
 - ✓ 販売促進費が154百万円増加

貸借対照表

(百万円)	25/3末	26/3末	増減額
流動資産	173,676	132,147	△ 41,529
現金預金	161,057	116,252	△ 44,805
受取手形	3,013	3,712	698
売掛金	8,975	11,127	2,152
棚卸資産	73	63	△ 9
その他	563	996	433
貸倒引当金	△ 7	△ 5	1
固定資産	34,962	88,654	53,692
有形固定資産	1,217	1,322	105
無形固定資産	1,271	1,989	717
投資その他の資産	32,473	85,342	52,868
資産合計	208,638	220,801	12,162

	25/3末	26/3末	増減額
負債	49,648	51,424	1,775
買掛金	362	401	39
未払金	1,803	2,393	590
未払法人税等	4,443	3,681	△ 761
前受収益	33,637	35,819	2,182
退職給付引当金	3,406	3,332	△ 73
その他	5,995	5,795	△ 200
純資産	158,990	169,376	10,386
資本金	10,519	10,519	0
資本剰余金	18,450	18,457	7
利益剰余金	116,484	126,873	10,389
有価証券評価差額金	13,757	13,747	△ 10
自己株式	△ 221	△ 220	0
負債・純資産	208,638	220,801	12,162

キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)	25年3月期	26年3月期	主な内訳項目												
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,670	17,372	<table border="1"> <tr> <td>税引前利益</td> <td>25,207</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>668</td> </tr> <tr> <td>売上債権増加額</td> <td>△ 2,851</td> </tr> <tr> <td>前受収益増加額</td> <td>2,182</td> </tr> <tr> <td>法人税等支払額</td> <td>△ 7,960</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>126</td> </tr> </table>	税引前利益	25,207	減価償却費	668	売上債権増加額	△ 2,851	前受収益増加額	2,182	法人税等支払額	△ 7,960	その他	126
税引前利益	25,207														
減価償却費	668														
売上債権増加額	△ 2,851														
前受収益増加額	2,182														
法人税等支払額	△ 7,960														
その他	126														
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,072	△ 54,423	<table border="1"> <tr> <td>無形固定資産の取得</td> <td>△ 1,113</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券の取得</td> <td>△ 2,900</td> </tr> <tr> <td>定期預金の預入</td> <td>△ 50,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>△ 410</td> </tr> </table>	無形固定資産の取得	△ 1,113	投資有価証券の取得	△ 2,900	定期預金の預入	△ 50,000	その他	△ 410				
無形固定資産の取得	△ 1,113														
投資有価証券の取得	△ 2,900														
定期預金の預入	△ 50,000														
その他	△ 410														
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,141	△ 7,743	<table border="1"> <tr> <td>配当金支払い</td> <td>△ 7,743</td> </tr> </table>	配当金支払い	△ 7,743										
配当金支払い	△ 7,743														
現金及び現金同等物の増加額	9,456	△ 44,795													
現金及び現金同等物期首残高	151,591	161,047													
現金及び現金同等物期末残高	161,047	116,252													

3. 2027年3月期事業計画



売上高計画（品目別）

(百万円)	26/3期 通期実績				27/3期 通期計画					
	上期	下期	通期	構成比(%)	上期	下期	通期	構成比(%)	増減額	前期比(%)
ソリューション	15,215	16,828	32,043	62.3	18,829	21,086	39,915	69.4	7,871	24.6
関連製品	2,485	2,281	4,766	9.3	2,121	2,350	4,471	7.8	△ 295	△6.2
サービス	7,231	7,359	14,591	28.4	6,669	6,445	13,114	22.8	△ 1,477	△10.1
合計	24,931	26,468	51,400	100.0	27,619	29,881	57,500	100.0	6,099	11.9

■ ソリューション

- ✓ 2027年4月にサポート終了を迎えるオンプレミス「奉行11」を背景に、クラウドへの移行が引き続き加速
- ✓ 「奉行V ERPクラウド」の拡販および「奉行クラウドEdge」の市場浸透を通じ、新規需要の取り込みを継続

■ 関連製品

- ✓ 奉行連動ソリューションの伸長が引き続き継続
- ✓ 前年度に発生したIaaSモデル環境構築新価格切替売上の剥落

■ サービス

- ✓ クラウド移行の進展により、オンプレミスの保守契約売上は減少傾向

損益計画

(百万円)	26/3期 通期		27/3期 通期計画		対前年同期	
	構成比(%)		構成比(%)		増減額	増減率(%)
売上高	51,400	100.0	57,500	100.0	6,100	11.9
売上総利益	43,505	84.6	48,600	84.5	5,095	11.7
販売管理費	19,924	38.8	22,100	38.4	2,176	10.9
営業利益	23,580	45.9	26,500	46.1	2,919	12.4
営業外損益	1,637	3.2	1,760	3.1	122	7.5
経常利益	25,218	49.1	28,260	49.1	3,041	12.1
当期純利益	18,132	35.3	19,350	33.7	1,218	6.7

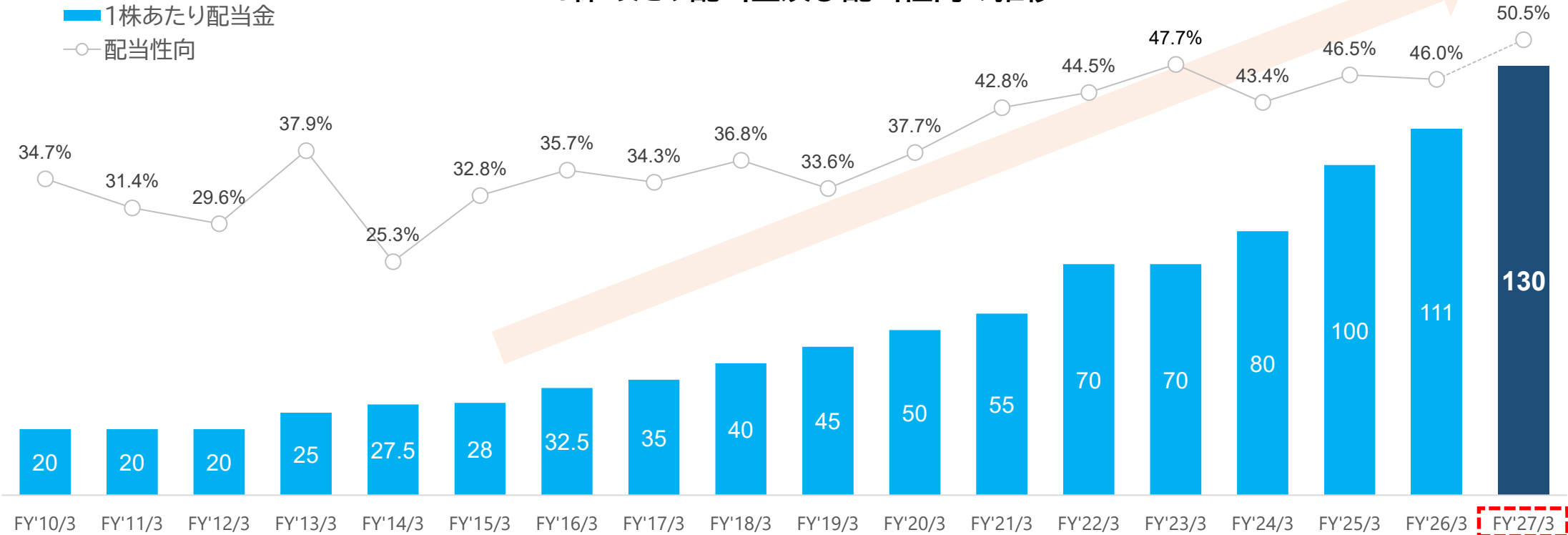
※27/3期の法人税等実効税率：31.5%

売上総利益	◆ クラウド売上は堅調な増加を見込むものの、クラウド原価(Azure利用料)の値上げ影響により、売上総利益は前年度と同水準を見込む
営業利益	◆ 販売費及び一般管理費は、人件費の増加(人員増および昇給)に加え、AI・セキュリティ・クラウドシフトをテーマとした広告宣伝費の増加や、展示会対応の強化を計画
経常利益	◆ 上場REIT等からの配当金収入および定期預金・債権からの受取利息として、通期で17億円
配当予想	◆ 年間配当額を26/3期111円から130円(中間65円)へ増配

株主還元 - 年間配当計画

年間配当額 前期111円から **130円(中間65円)**へ増配

1株あたり配当金及び配当性向の推移



配当性向 **50.5%**となる予想

2014年3月期、2019年3月期は、1株につき2株への株式分割を行っており、分割適及値で表記しています。

4. 2027年3月期事業戦略



事業運営の質的向上のための重点取り組み



セキュリティ

Security

- ✓ PaaS構造による権限分離設計。ランサムウェアの感染リスクを遮断し回避
- ✓ ISMAP(国内最高水準のセキュリティ評価)登録により、新市場への展開拡大



AI戦略

AI Strength & Enhancement

- ✓ 磨き上げてきた基幹システムの信頼性を軸としてAI活用により価値増大へ
- ✓ AX(AIトランスフォーメーション)の実現
 - AIアシスタント 奉行の高機能をさらに圧倒的な使いやすさへ
 - AIEージェント バックオフィス業務の圧倒的な生産性向上への貢献
 - AI Coworkの年内提供開始を計画



人的資本経営

Human Capital

- ✓ 人的資本経営戦略としての健康経営の推進
 - 「健康経営銘柄 2026」に初選定
 - 「健康経営優良法人 2026(ホワイト500)」に2年連続で認定



外部評価

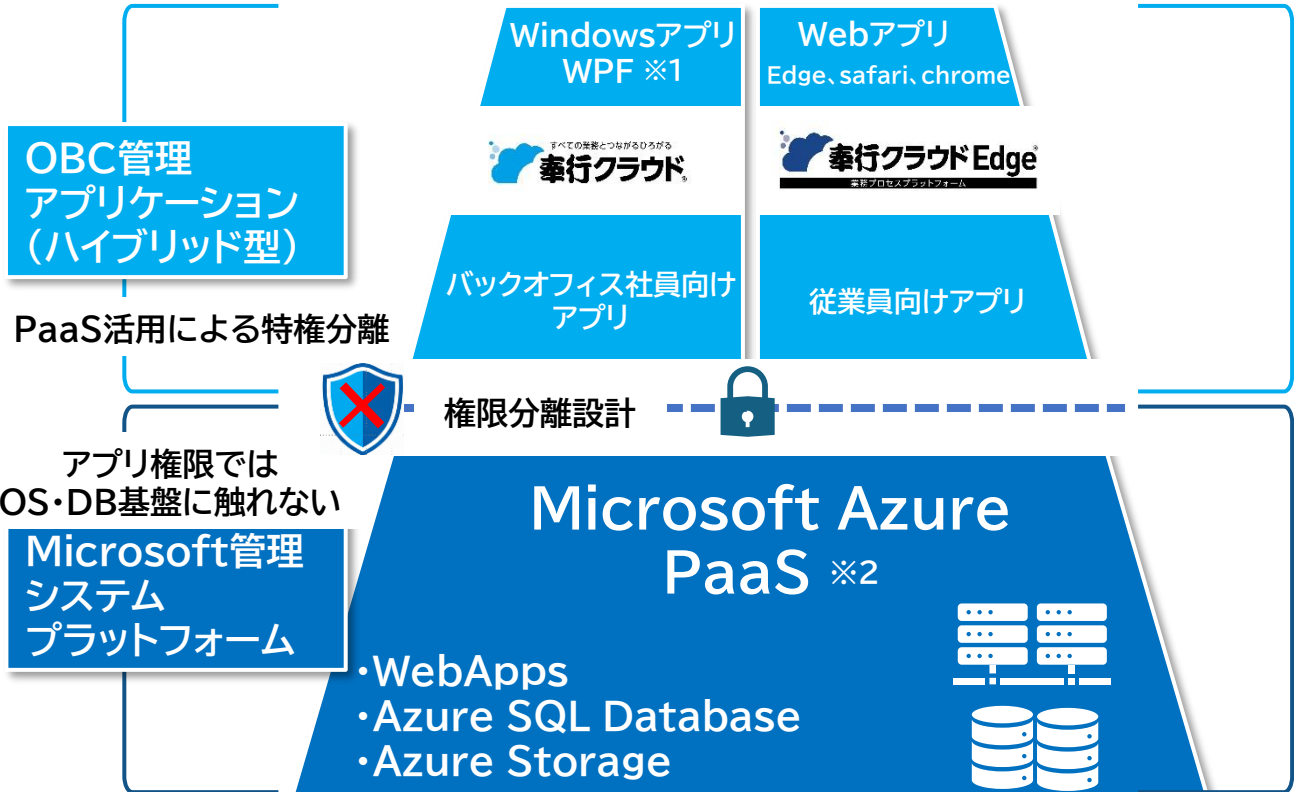
Recognition

- ✓ OBCのミッション“業務にイノベーションを お客様に感動を”を継続して実践し、「顧客満足度No.1」、「パートナー満足度No.1」をそれぞれ、連続して獲得

ランサム攻撃の影響を回避し得るセキュリティ構造

プロダクトのシステムアーキテクチャー

ネイティブクラウド(PaaS構造)による強み



強固な分離設計

- アプリとクラウド基盤の権限を完全分離
- マルウェアによる改ざんを構造的に遮断

最新環境へ自動更新

- 脆弱性修正を最速自動適用
- 常に最新の安全な環境を利用可能

PaaSを活用したネイティブSaaSだからこそ実現できる、最高水準の利便性と安全性の両立

- ☑ 世界基準のOS基盤 Microsoft Azureの採用
- ☑ 権限の分離設計構造によりランサムウェアの感染リスクを遮断し回避
- ☑ 常に最新のサービス環境に最速での自動更新

⇒ 奉行クラウドがお客様の事業継続に貢献します。

※1 WPF: Microsoft Windows Presentation Foundation
 ※2 PaaS: Platform as a Service クラウドアプリケーションの開発・実行・管理用プラットフォームサービス

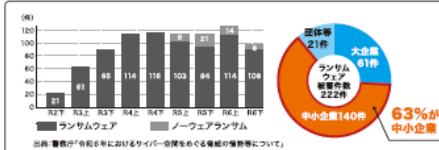
ランサム攻撃の影響を回避し得るセキュリティ構造

OBCは
ランサムウェア対策として
奉行クラウド®への
移行を推奨します



サイバー攻撃の標的は、大企業から中小企業へと拡大

近年、サイバー攻撃は増加傾向にあり、その対象は大企業だけでなく中小企業にも広がっています。特にランサムウェアによる被害は深刻で、警察庁が発表した「令和6年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」によると、ランサムウェア被害の約63%は中小企業が占めています。基幹業務システムが停止し、事業が継続できなくなるケースも実際に発生しており、企業にとって大きな経営リスクとなっていますが、どこまで、どのように対策を講じるべきか悩む企業が多いのが現状です。



事業が停止し、莫大な損害が出る

- ×業務システム停止
- ×受発注・出荷業務の停止
- ×決算遅延
- ×売掛金の回収不能
- ×過去データの消失
- ×取引先・社員情報の漏洩
- ×支払い不能による信頼失墜

オンプレミス(奉行11を含む自社運用)は、負荷とリスクが高い

自社PC・サーバーでソフトウェアを運用するオンプレミスの場合、ランサムウェアを含むサイバー攻撃に対して、企業側ですべての対策を実施し続けなければならない。攻撃の手口は常に進化しており、自社だけで対策し続けることは、コスト・負荷に加えて大きなリスクも伴います。

<p>セキュリティ設定・アップデートの継続</p>	<p>OS・ミドルウェアの最新維持</p>	<p>バックアップの確保</p>	<p>従業員教育(誤操作等による感染防止)</p>
---------------------------	-----------------------	------------------	---------------------------

ランサムウェア対策の最適解は奉行クラウド

奉行クラウドは、データやソフトウェアをクラウド上で保管・管理するため、万が一、自社のPCが攻撃されても、データの暗号化・窃取のリスクなく、安全性が確保されます。

- ・自社PCが感染しても、データはクラウド上に安全に保管
- ・最新のセキュリティ対策が自動的に適用
- ・バックアップや障害対策もクラウド側で実施

安心して業務継続できる環境をご提供します



奉行クラウド®は
ランサムウェア感染を防ぐ仕組みを備えた
安心・安全なクラウドサービスです

ランサムウェアは「特別な管理権限」を乗っ取る

攻撃者は、OSの「特別な管理権限」を奪い、重要なファイルを暗号化・窃取して身代金を要求します。



ランサムウェアが業務停止を引き起こすのは、この「特別な管理権限」が奪われるためです。オンプレミス(自社運用)は、企業が全ての「特別な管理権限」を保持するため、一度社内ネットワークへ侵入されるとシステム全体に被害が及びやすい構造になっています。

奉行クラウドは、権限分離設計でランサムウェアを防ぐ

奉行クラウドは、クラウド基盤にMicrosoft Azureを採用しています。OSの「特別な管理権限」はマイクロソフトのみが保有しており、OBCを含む第三者が触れない仕組みになっています。この権限分離設計により、管理権限の乗っ取りを前提とするランサムウェア攻撃が成立しにくい構造を実現しています。



Microsoft Azureの高い安全性

奉行クラウドが採用しているMicrosoft Azureは、世界最高水準のセキュリティを誇り、サイバー攻撃への耐性にも定評があります。日本政府が公式に採用するクラウド基盤(ガバメントクラウド)にも採用されている信頼性の高いクラウドです。

- 高度な監視
毎日6兆件以上の脅威シグナルを分析・対応
- OS・ミドルウェアの自動更新
常に最新
- 日本国内でデータ保蔵(6重化)
※日本データセンターを中心に、西日本のデータセンターをバックアップセンターとして展開(自動的に3重化)

奉行クラウドのセキュリティ対策

奉行クラウドでは、ソフトウェアのセキュリティ強化策を実施しています。SOC1/SOC2(外部監査人が「運用管理が適切」と証明する国際基準)の取得およびISMAP(政府情報システムのためのクラウドサービス評価制度)への登録など、第三者認証を受け、厳格な運用が行われていることを証明しています。

- | | | | | | |
|---------------|----------------|--------------|---|--------------|--------------------|
| 独自IDによるアクセス認証 | 暗号化による強固なデータ保護 | 24時間365日運用監視 | WAF®とFirewallによる防御
※Web Application Firewall | 定期的な脆弱性診断と対策 | IP制御や多要素認証のなりすまし防止 |
|---------------|----------------|--------------|---|--------------|--------------------|

「事業を止めない」ために、奉行クラウドへの移行をお早めにご検討ください

さらなるセキュリティ強化と新市場(行政市場)への展開拡大



ISMAP (Information system Security Management and Assessment Program)
 日本政府がクラウドサービスを調達する際のセキュリティ基準を定めた評価制度です。
 厳格な審査を経て、信頼性の高いサービスのみが第三者評価を通じて登録されます。

ISMAPの主な利点・特徴

国内最高水準の基準対応が OBCクラウドの価値を証明

政府が定める国内最高水準のセキュリティ基準に準拠したクラウドサービスの提供により、OBCはサービスの信頼性とブランド価値を高めています。

信頼できるクラウド選択

企業や自治体は、ISMAP登録クラウドを選択することで、国の基準に準拠した安全性の高いサービスを安心して導入できます。

ISMAP継続で最高水準の セキュリティ体制を維持

OBCはISMAP登録を継続することで、常に最新の安全基準に対応した、信頼性の高いサービスをお客様に提供できます。またお客様は永続的に高度なセキュリティを享受できます。

“国産SaaS ERPとして初の登録”

奉行クラウドシリーズの第三者認証は、既に取得済みであるSOC1・SOC2レポートに加え、日本政府が求めるセキュリティレベルを評価するISMAPに国内業務ERPとしては初登録。



“ISMAP登録により行政市場への展開拡大”

デジタル庁が推進する「デジタルマーケットプレイス(DMP)」への掲載により、民間企業向けクラウドサービスが行政機関・自治体にも広く展開可能となりました。今後の販路拡大に寄与することが期待できます。



行政機関



デジタルマーケットプレイス
<https://www.dmp-official.digital.go.jp/>



クラウドサービス事業者

行政機関(国や自治体)はDMPに掲載しているSaaSからシステムを選定

奉行主力製品はDMP登録済
 すでにDMPを通じた案件流入実績あり



磨き上げてきた基幹システムの信頼性を軸としてAI活用による価値増大へ

ミスを生まないバックオフィス業務の実現へのこだわり

創業来40年以上にわたり一貫して、「最新制度への準拠」と「業務の正確性」実現を徹底追求。
日本企業の商習慣に根ざした「あるべき業務フロー」を業務パッケージソフトとして提供。
私たちが守り続けてきたのは、企業の真実を“経営資産”にするための、“確定データの精度”です。

基幹システムとしての圧倒的優位性

法改正への「100%」準拠へのこだわり

たとえAIの正解率が99%でも、決算税務申告や給与計算において「1%の誤り」は「0点(ガバナンス欠如)」と見做されます。
OBCは長年に渡って、我が国の複雑な税法・会社法や労働関係法規への「100%準拠」を提供。「奉行をお使い頂きさえすれば、ミスの無い業務を実現できる」という価値を社会へ。

日本最大級の「構造化された財務・人事データ」の蓄積

中小・中堅・上場企業を中心とした膨大な顧客基盤と、長年蓄積された商流データ。
仕訳、債権債務、配賦、給与計算など、一貫性が担保された「クリーンなデータ」。
奉行のデータは、企業の意思決定の「根拠」となる最も純度の高いデータと言えます。

AIの進化が、「コアデータ」の価値を顕在化させる

AIの精度はデータの質に直結します。汎用AIが進化しても、企業固有の「正しい過去実績」がなければ経営判断には使えません。
奉行クラウドはMicrosoft Azure上にすべてのデータを保持。Microsoft開発基盤との深い統合環境により、AIの真価を最大限に引き出します。



コアデータを核としたAX(AIトランスフォーメーション)の実現

OBCによるAX実現に向けた

AI戦略

奉行クラウドAIアシスタント

『奉行クラウド』・『奉行クラウドEdge』に
組み込まれ、お客様の業務を機能面で直接支援

OBCの
ナレッジ&テクノロジー
で生産性向上を実現

顧客満足度
向上に貢献

奉行クラウドAIエージェント

他社システムとも連携し、AIが自律的に
お客様ごとの業務ニーズに対応

OBCのテクノロジー×
パートナー様のナレッジ
で支援領域拡大を実現

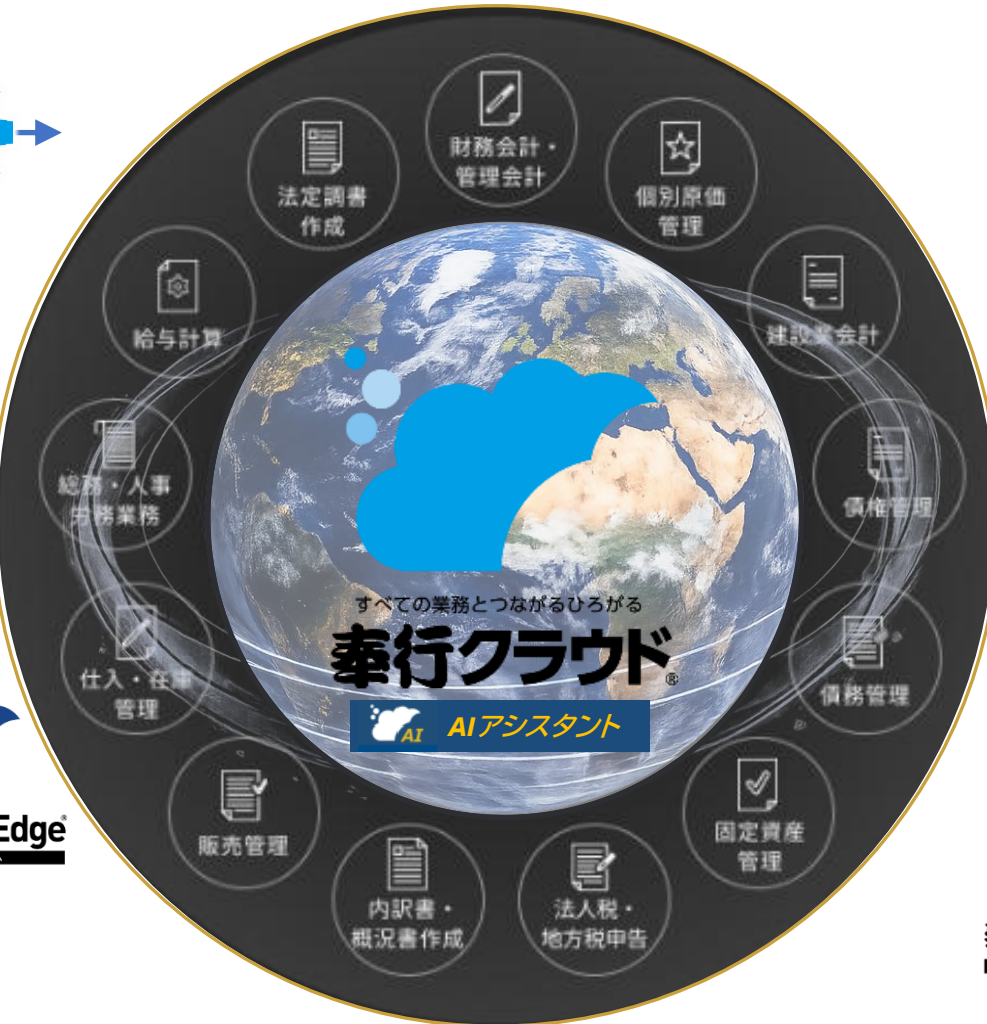
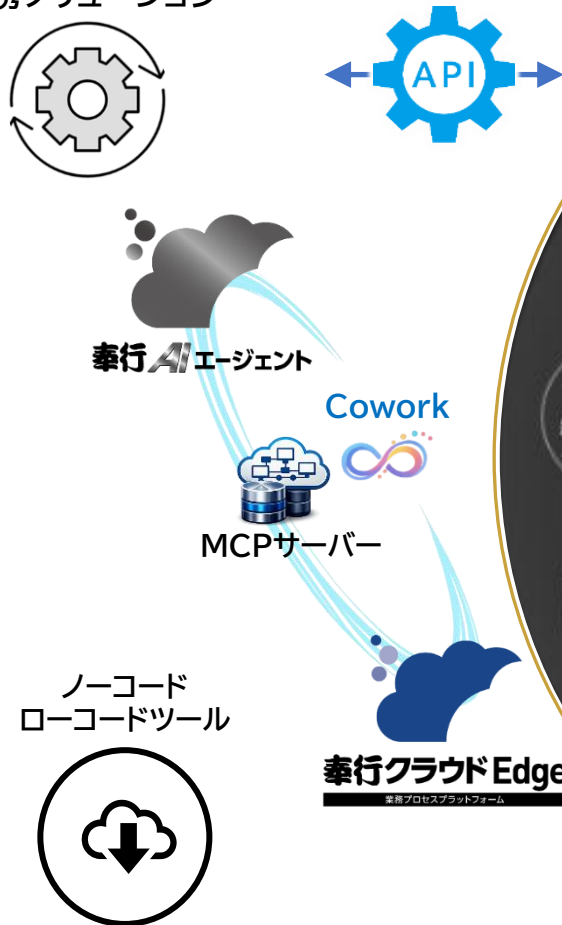
パートナー満足度
向上に貢献



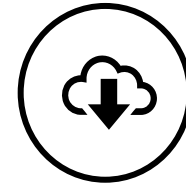
『SaaSの死』とは

周辺(Edge)及び連携業務領域のSaaSソリューションが、AIの活用によって飛躍的な進化を遂げて、
マーケット全体を大きく拡大させる・次世代SaaSへの切り替えことを意味するものです。

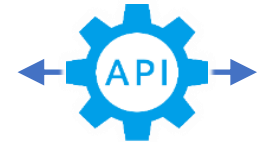
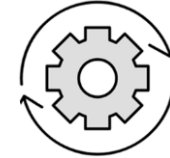
連携ソリューション



ノーコード
ローコードツール



連携ソリューション



人的資本経営戦略としての健康経営の推進

初選定



2年連続
で認定

健康経営銘柄44社のうち1社に選定

健康経営優良法人(大規模法人部門)申請法人の
上位500位以内のホワイト500に認定

OBCの健康経営の取り組み ～ウェルビーイングな職場を目指して～



ウォーキングイベント
開催

■ウォーキングイベントの定期開催
開催を重ねる毎に参加者が増加。直近では、
全国約800名の社員が参加。個人やチーム
で歩く習慣をつける施策を継続。



食事教室

■各種セミナー・教室を企画
健康の土台となる「食事」、社員
が体を動かすきっかけづくり、
産婦人科専門医によるセミナー
を女性社員及び管理職向けに
動画配信。各種企画を不定期に
開催。



ヨガ教室

女性の疾患セミナー



■ OBC社内診療所

医師が常駐し、インフルエンザワクチン接種にも対応。クリニックとしての機能に加えて、大学病院の地域医療連携協力機関として登録されているため、緊急時には大学病院への紹介・連携が迅速に行われて、社員・家族は高度かつ専門的な治療を受けることが出来る体制となっています。



禁煙外来

女性外来を開始

栄養指導 受付開始

ダイエット外来スタート

■禁煙外来/ダイエット外来/女性外来など受付

現代の忙しい生活の中で、社員の禁煙やダイエットに向けて、社員の健康増進を後押し。
また、女性社員が抱える様々な健康上の悩みや問題に対し、専門的なサポートを提供します。



OBC健康ポイントの導入

■「OBC健康ポイント」制度の導入

血圧などの健康診断データに加え、二次検査の受診や禁煙の達成など多岐にわたる評価項目によって、健康状態の改善・維持に取り組む社員に対してデジタルポイントを付与する仕組みを新たに導入し、社員の多様な健康行動を前向きに後押しします。

お客様と成長を続ける奉行シリーズ 国内企業累計導入数82万

業務クラウド国内No.1ブランド「奉行クラウド」

小規模・中小企業向け
基幹業務クラウド



日経コンピュータ 2025年9月4日号
顧客満足度調査 2025-2026
ERP (統合基幹業務システム) 部門 第1位

OBC、7年連続 通算 18回目の第1位を獲得
(受賞年：2005～2011年、2014年～2017年、2019年～2025年)

中堅・上場企業向け
SaaS型 ERP



日経コンピュータ 2025年9月4日号
顧客満足度調査 2025-2026
人事・HR テックソフト / サービス部門 第1位

従業員向け
働き方改革ソリューション



日経コンピュータ 2026年3月5日号
パートナー満足度調査 2026
基幹業務ソフト / サービス部門 第1位

OBC、6年連続 通算 14回目の第1位を獲得
(受賞年：2006年、2008年、2009年、2011年～2013年、2016年、2019年、2021年～2026年)
※本調査は製品ではなく企業を対象にしたものです。※前回は「ERP」部門。

成長企業向け
専門業務を支えるAIパートナー



累計導入数
820,000
※2025年8月現在

中堅企業	累計	19,800 社
奉行V ERP	累計	16,300 社
上場企業		1,789 社

※2025年5月現在

奉行クラウド・奉行クラウドEdge 累計導入システム
152,400システム以上
※2025年8月現在

契約継続率 **> 99.3%**

利用者数 **> 1,723**万人

※契約継続率 2024年4月～2025年3月の売上金額と契約金額から算出

奉行Edge マイナパーククラウド ※2025年8月現在

利用数 **12,990**社
利用者数 **3,193,000**人

奉行Edge 勤怠管理クラウド ※2025年8月現在

利用数 **15,150**社
利用者数 **1,523,000**人

奉行Edge 年末調整申告書クラウド ※2025年8月現在

利用数 **14,400**社
利用者数 **2,715,000**人

奉行Edge 給与明細電子化クラウド ※2025年8月現在

利用数 **20,700**社
利用者数 **3,052,000**人

2027年3月期 成長を実現する5つの戦略

Mission

AI・セキュリティの時代に奉行の価値を大きく広げる

5つの戦略

1

奉行11シリーズ
Up to Cloud

2

奉行V ERP
クラウド拡販戦略

3

奉行クラウドEdgeによる
周辺業務のデジタル化促進(DX)

4

専門家チャネルを
活用した拡販戦略

5

AI・セキュリティ
強化(AX)

1 奉行11シリーズ Up to Cloud

オンプレミスのクラウド移行戦略【第1弾】

奉行11シリーズ全体 約11万システム
※1【第1弾】約4万システム
2027年4月末サポート終了

※1 20年3月～23年3月出荷製品

2026年3月末時点

奉行i11シリーズ約7.9万システム 第1弾:3.1万システム 第2弾:4.7万システム
奉行V ERP11シリーズ約2.7万システム 第1弾:0.6万システム 第2段:2.1万システム

UP to クラウド
IT導入補助金2年分の活用

基幹業務システム
奉行[®]11シリーズ



コンバート事前確認ツールや実行セミナーに加え、クラウド転換に関する疑問を解消する一問一答セミナーもアーカイブ配信。導入前から運用までを継続的に支援するコンテンツを、いつでも閲覧可能な形で提供。



奉行クラウド移行ガイドブック



導入前に知っておきたい「奉行11」と「奉行クラウド」の違い

2 奉行V ERPクラウド拡販戦略

固定資産・リース資産の管理をフルカバー。新リース会計基準の対応準備に万全サポート

新リース会計基準(2027年4月以降開始会計年度から強制適用)に標準機能ですべて対応

奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド

AIでリース識別

新リース会計対応実装済み

固定資産管理システム
固定資産奉行V ERP
クラウド

仕訳自動作成

財務会計システム
勤定奉行V ERPクラウド

① 影響額試算

オンバランス化による 影響額の把握

オンバランス対象の試算数、
遡及計算方法ごとの影響額
や自己資本比率を計算



影響額試算ツールExcelは
固定資産奉行V ERPクラウド
へそのままインポートも可能



② 適用初年度の 遡及計算

新規識別リースの登録

新たにリースと識別
した契約情報を
リース登録

リース負債等の遡及計算

経過処置を適用した
初年度影響額を
自動計算

遡及計算影響額の確認

適用初年度の期首
時点で計上すべき
仕訳金額を確認

③ 使用权資産・リース 負債の計算

リース契約情報の登録

リース契約番号
ごとに複数のリース
を登録・管理

④ リース負債等の 見直し

契約条件やリース期間の 変更に伴うリース 負債等の見直し

契約条件やリース
期間の変更があった
場合にリース負債等
を見直し

⑤ 仕訳伝票作成

新リース基準に則した 仕訳伝票の自動作成

リース契約開始時
やリース負債等の
見直しをはじめとし
た仕訳を自動作成

⑥ 注記情報

注記項目一覧表の作成

注記作成に必要な金額を
自動集計

⑦ 税務要件への対応

税務上のリース取引区分 判定基準

税務上の取引区分の判定・
申告調整

2 奉行V ERPクラウド

ノーコード・ローコードデータ連携、APIによる他社ソリューションとの連携

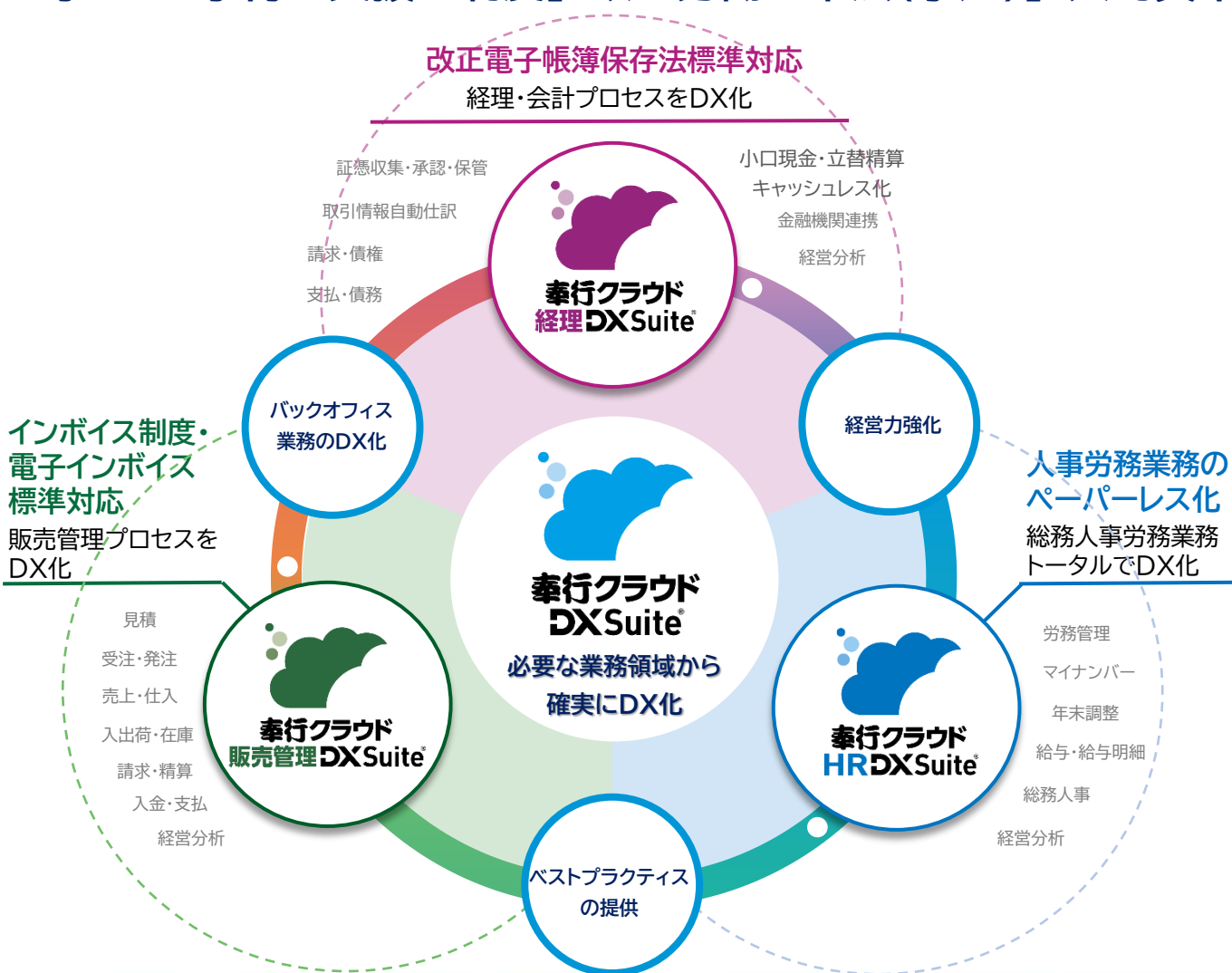
8社のツールパートナーとの連携によって、お客様独自の業務をSaaSで完結



3 奉行クラウドEdgeによる周辺業務のデジタル化促進

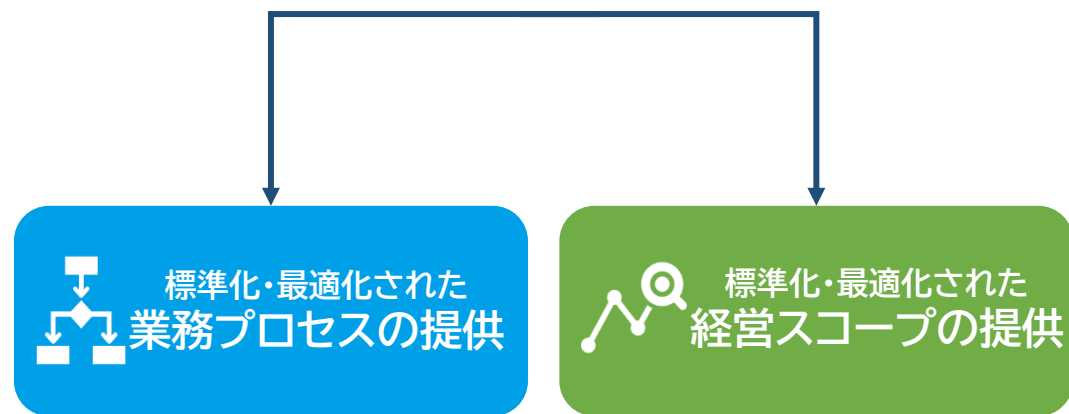
最新制度をもれなく標準搭載し、経営力を強化する「奉行クラウド DX Suite」

「子ども・子育て支援金制度」「改正労働基準法(予定)」「人的資本開示項目集計」に対応



奉行クラウド DX Suiteは、業務と経営判断を高度化するためのベストプラクティスによってバックオフィス業務をDX化し、経営力の強化に貢献します

奉行クラウドDXSuite[®] = 時代に整合したベストプラクティスの提供



- ビジネスプロセスが短縮される
- 目視のチェックや手入力がなくなる
- 誰でも繰り返し同じ結果が出せる
- リアルタイムに企業の現状を把握できる
- 多角的な視点で情報提供できる
- データの活用ができ、次のアクションがわかる

どんな企業でも請求書DXがうまくいく、請求書DXサービスの決定版

請求書の形式を問わずペーパーレス化が可能で、面倒な手作業やミスがゼロになる

さらに、請求書の発行・受取側どちらもPeppol仕様を利用なら、PDFの読取りや保管業務もゼロに

奉行Edge 発行請求書DX クラウド

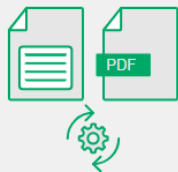


奉行Edge 受領請求書DX クラウド

請求書のデジタル発行があっという間に終わる！

メリット1

PDFでも紙でも送付作業を
全て自動化



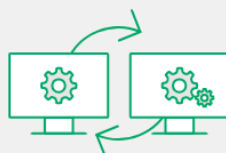
メリット2

送付状況を可視化することで
ミスや漏れがなくなる



メリット3

利用中の販売管理システムと
スムーズにつながる



請求書の受領から支払まで一気通貫でデジタル化

メリット1

社内の請求書をデジタルで
集めて支払業務が素早く完了



メリット2

請求書支払の
ミスや漏れを防止



メリット3

利用中の会計システムと
スムーズにつながる



4 専門家チャネルを活用した拡販戦略

パートナービジネスの強みを最大限に生かしたエコシステム創出を狙う



業務設計・変革支援のプロ×テクノロジーによる価値創出

業務の設計や変革を導くプロフェッショナルの「レグジ」と、OBCが持つAIやセキュリティにおけるテクノロジーとを融合すべく、多様な座組み・連携によって大きな価値創造を狙う

奉行クラウドBPaaSの展開推進

OBCがお客様のBPaaS相談の入口となり、ニーズの詳細を把握の上、最適な専門事業者様を紹介

より生産性の高い業務環境構築へ

職業専門家業界においてもパッケージソフトの標準機能に合わせて業務標準化を図り、より高い生産性を追求するニーズの高まり

各エリア企業様のDX推進を広範に支援

各金融機関様がエリアの企業様のDX推進の後押しをさらに強化しています。各グループ独自のBPaaS事業の展開など、パッケージソフト導入検討の機会・可能性は飛躍的に拡大しています。

4 専門家チャネルを活用した拡販戦略

BPaaSニーズの取り込みによる奉行クラウドの拡販戦略

OBCのBPaaS戦略の狙い

中堅・大企業から中小企業までのBPaaSニーズの高まりを背景に、攻めと守りの両輪で奉行クラウド“ビジネス”を成長させる

BPaaSニーズの高まり

中堅・大企業など

- 業務量増加への対応として、高度な業務と標準的な業務とを切り分けて、BPaaS利用によって効率化を図りたい

中小企業など

- 担当者の退職によって業務が回らない
- BPaaS利用によって業務属人化リスクを解消したい



攻め

“新規顧客獲得”

中堅・大企業のBPaaS
ニーズを取り込み、
新規売上を増大

守り

“奉行ユーザーの
離脱防止”

既存ユーザー様の
担当者退職や休職
による解約リスクを阻止

5 AI・セキュリティ強化

奉行クラウド AIアシスタント機能例(組み込み済み)

銀行入出金データ、クレジットカード利用明細データからの自動仕訳

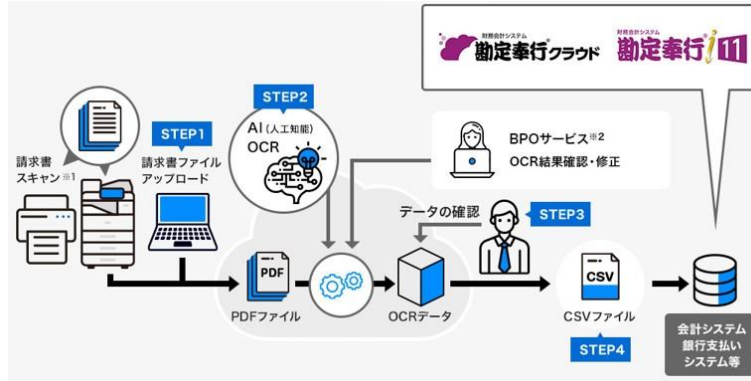
AI-OCRオプション for 奉行クラウド

奉行AIチャット(奉行クラウド全製品)

AI×OCRで請求書内容の自動データ化により
経理業務を効率化

「知りたいこと」に的確に回答し、日々の業務をアシスト

取引日	取引種別	取引相手名	出金額	入金額
19. 4. 30	000000003	助信「ATM」		4,900,000
19. 4. 30	000000010	住友クレジット	1,417,447	
19. 4. 30	000000013	カブツツカ(株)	1,367,415	
19. 4. 30	000000018	テイクオフ(株)	551,881	
19. 4. 30	000000018	テイクオフ(株)	3,456,000	
19. 4. 30	000000020	助信「ATM」		2,037,893
19. 4. 30	000000013	テイクオフ(株)	551,881	
19. 4. 30	000000018	テイクオフ(株)	3,456,000	
19. 4. 30	000000020	助信「ATM」		2,037,893
19. 4. 30	000000013	テイクオフ(株)	551,881	



法定調書合計表料金の金額や人数が管理費料と合わないのですが、何が原因ですか？

- 調整額が原因の場合：調整額が入力されている社員を確認する必要があります。
- 年末調整の処理状況が原因の場合：年末調整一覧表で、退職社員や年功不償の社員を含めて再計算する必要があります。
- 支払金額が0円以下の社員が原因の場合：年末調整一覧表で課税収入金額を確認し、0円以下の社員がいるか確認します。
- 調整年調の社員が原因の場合：年末調整方法が「単独年調」の社員を確認し、源泉徴収税額を確認します。

これらの原因を確認することで、金額や人数の不一致の原因を特定できます。

自然言語での仕訳・社員検索

勘定奉行クラウドGlobal Editionでの多言語対応・自動翻訳

行	借方	金額	部門 / 勘定科目 / 補助科目 / 取引先	貸方	金額	部門 / 勘定科目 / 補助科目 / 取引先
1	001 第一営業部 135 売掛金	9,930,000	001 第一営業部 500 売上高			
2	00000001 太平洋販売株式会社	3,000,000	001 第一営業部 500 売上高			
3	001 第一営業部 135 売掛金	8,549,000	001 第一営業部 500 売上高			
4	001 第一営業部 135 売掛金	7,000,000	001 第一営業部 500 売上高			
5	00000001 太平洋販売株式会社		00000001 太平洋販売株式会社		7,000,000	

以下 conditions を生成しました。

- 伝票日付 25年 4月 1日 ~ 26年 3月 31日
- 伝票出力順 伝票日付の新しいものから表示
- 勘定科目 売上高

売上げが100万円を超える仕訳

例)タイ語で入力された摘要の文字の翻訳イメージ

SGD	5.9891	500.75	ยังไม่ได้รับรวมลูกหนี้	ยังไม่ได้รับรวมลูกหนี้
001	Sales1		未徴収売掛金	未徴収売掛金
31100	コンサルティング		ยังไม่ได้รับรวมลูกหนี้	Not yet collected accounts receivable

仕訳伝票上で入力された
現地語の摘要は
日本語や英語に
翻訳可能

※今後提供予定の機能・サービスを含みます

リースの識別をAIでサポートする『奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド』

奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド

✓ 契約書を1件ずつ確認しながら、
リース識別の業務に時間がかかる...

✓ リース識別の判断や根拠にミスがないか不安...



AIがリース識別をサポート！

新リース会計基準適用の第一歩！ 『リース識別』への課題を迷わず最短で解決！

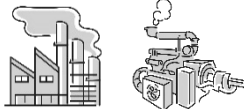
契約書データを
アップロード

リースを含む可能性のある契約の識別を
奉行AIエージェントがサポート

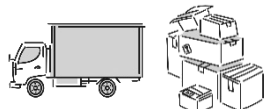
識別結果をもとに手間なく
リース資産として登録

識別したい契約書

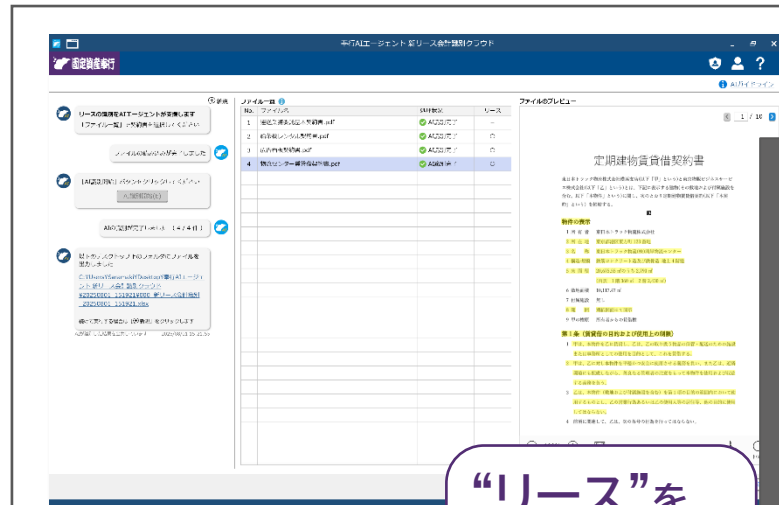
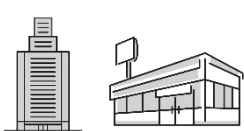
製造委託契約



物流委託契約



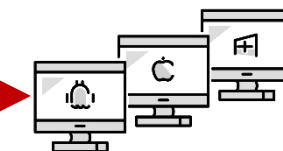
テナント契約



“リース”を
含む可能性が
高いor 低い

まとめてアップロード！

固定資産管理システム



CSVデータを取込

データ出力



そのままデータを取込

手間のかかる連結会計業務を支援する『奉行AIエージェント 連結会計支援クラウド』

奉行AIエージェント 連結会計支援クラウド

最大のボトルネックと言われる収集～照合までの課題を すべて解消するSaaS型 AIエージェントサービス

子会社のデータ収集

- 異なる会計システムを利用しているため、フォーマットがばらばら
- 連結パッケージの作成負荷が大きい

内部取引の突合で差異発生

- 伝票の起票漏れ、取引先フラグの間違い、計上月のずれなど、様々な原因により差異が発生

膨大な伝票から原因調査

- 複数の会社間取引の伝票から探し出すのに非常に手間がかかる
- 個社に伝票修正を指示して修正を待たないといけない

差額が小さくなるまで繰り返し行う(速報版・修正版・確定版など)最大のボトルネック

奉行クラウドを利用した収集～照合までの流れ



国内・海外(※)問わず
瞬時にデータ収集が完了

※勘定奉行クラウドGlobal Editionの収集は対応予定



AIが明細単位で内部取引を
突合し、原因調査もスムーズに

最大のボトルネックが極めて生産性の高い環境に

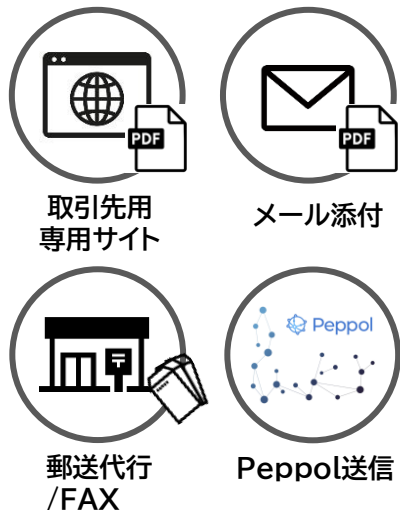
請求書DXアップデート: 請求書を明細までAIでデータ化し、支払業務をデジタル化

奉行Edge
発行請求書DX
クラウド

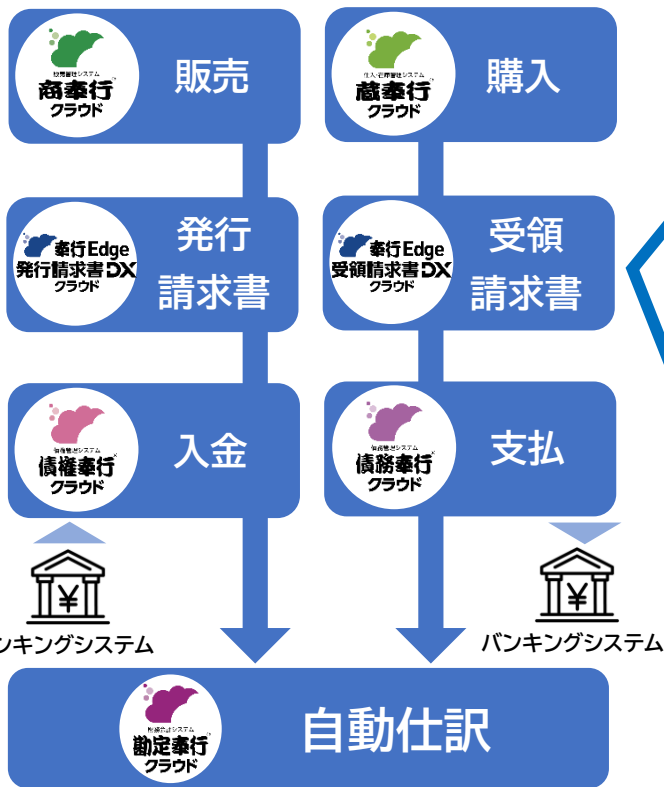
電子帳簿保存法 対応
インボイス制度 対応

業務を変えずに
請求書の送付作業を**自動化**

多様な方法で請求書を送付



すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド



奉行Edge
受領請求書DX
クラウド

電子帳簿保存法 対応
インボイス制度 対応

請求書の受領から支払まで
一連の**支払業務をデジタル化**

受領した請求書を**明細までAI**でデータ化



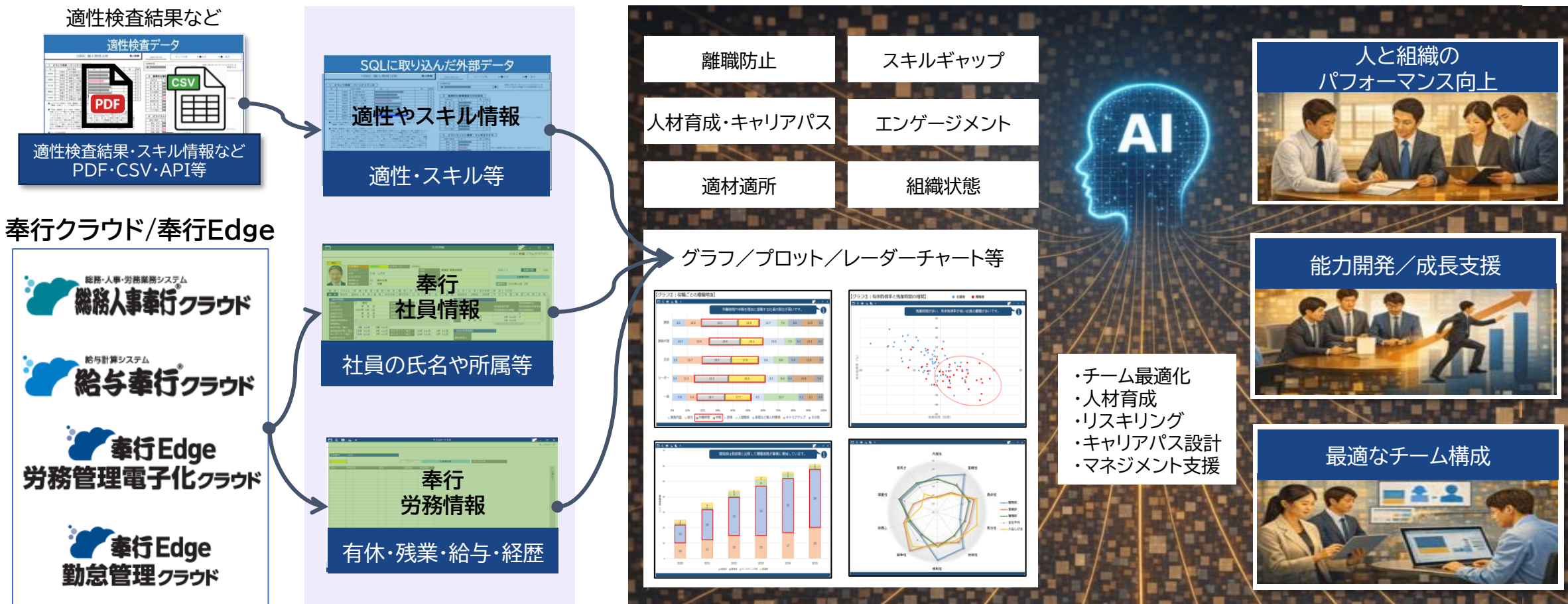
奉行AIエージェント タレントマネジメントクラウド(仮)

奉行で一元管理される人事・労務情報に、適性やスキル情報などを組み合わせ、全社員の強み・志向・能力を最大限に活かし、企業競争力を高める組織づくり・人財育成を、AIが自律的に支援

奉行管理データ

見える化／予測／提案

組織づくり／人財育成



① Azure(クラウドプラットフォーム)

BCP(事業継続計画)の確実性を高める“強固な基盤”

世界最高水準のセキュリティ対策

米国国防総省に次ぐ攻撃情報を学習し続ける防御網
日本ガバメントクラウド選定: 政府が認めた共通利用クラウド環境

ゼロトラスト設計 分離設計(*)・高度な監視

アプリとAzure管理層の権限を完全分離 マルウェアの権限悪用を防止(*)
毎日6兆件以上の脅威シグナルをグローバルに分析リアルタイムに対応

自動更新 OS・ミドルウェアの自動更新(*)

基盤 OS・ミドルウェアの更新を最速で自動適用し常に最新状態を維持

国内限定 東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管
東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化

※ Azure PaaS活用による効果



東日本データセンターを
中心に、西日本のデータ
センターをバックアップ
センターとして活用



② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

アクセス認証 OBCiD・多要素認証

多要素認証を組み合わせなりすましを防止・シングルサインオン・顔認証

暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護

24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

WAF(Web Application Firewall)+FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除



③ OBCが提供するセキュリティ (国内最高レベルの開発・管理・運用体制)

ISMAP
(2025年6月末登録完了)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

SOC1/SOC2
(内部統制/セキュリティ)

国際会計基準による第三者監査評価



第三者監査評価
大手監査法人による監査

ISMAP/SOC1/SOC2は監査法人監査必須

ASMツール
最高グレード「評価A」を取得

外部公開資産のサイバー攻撃耐性を評価

使用ツールSecurityScorecard

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。

Appendix



会社概要・奉行クラウドシリーズ

商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD
代表者	代表取締役社長 和田 成史
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号住友不動産新宿オークタワー
設立	1980年12月
事業開始	1981年7月
資本金	105億1,900万円
従業員数	1,356名(2026年4月1日現在、臨時雇用者数含む)
決算期	年1回(3月)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:4733)
事業内容	企業業務(会計・人事・給与等の基幹業務や、それに係る周辺業務)に関するソリューションテクノロジーの開発メーカーとして、パートナー企業を通して、お客様の業務効率化に貢献するクラウドサービス等を提供
事業所	札幌・仙台・関東・東京・横浜・静岡・名古屋・金沢・大阪・広島・福岡
開発センター	東京(常時400名規模の開発体制)
サポートセンター	東京・札幌(常時300名規模のサポート体制)



▲ 開発センター

お客様と成長を続ける 奉行シリーズ

業務クラウド国内No.1ブランド「奉行クラウド」

小規模・中小企業向け
基幹業務クラウド



中堅・上場企業向け
SaaS型 ERP



従業員向け
働き方改革ソリューション



成長企業向け
専門業務を支えるAIパートナー



日経コンピュータ 2025年9月4日号
顧客満足度調査 2025-2026
ERP (統合基幹業務システム) 部門 第1位

OBC、7年連続 通算 18回目の第1位を獲得
(受賞年：2005～2011年、2014年～2017年、2019年～2025年)



日経コンピュータ 2025年9月4日号
顧客満足度調査 2025-2026
**人事・HR テックソフト
／サービス部門 第1位**



日経コンピュータ 2026年3月5日号
パートナー満足度調査 2026
**基幹業務ソフト
／サービス部門 第1位**

OBC、6年連続 通算 14回目の第1位を獲得
(受賞年：2006年、2008年、2009年、2011年～2013年、2016年、2019年、2021年～2026年)
※本調査は製品ではなく企業を対象にしたものです。※前回は「ERP」部門。

累計導入数
820,000

※2025年8月現在

中堅企業 > 累計 **19,800** 社
奉行V ERP > 累計 **16,300** 社
上場企業 > **1,789** 社

奉行クラウド・
奉行クラウドEdge
累計導入システム
152,400 システム
以上
※2025年8月現在

契約継続率 > **99.3%**
利用者数 > **1,723** 万人

※契約継続率 2024年4月～2025年3月の売上金額と契約金額から算出

奉行Edge マイナパーククラウド
※2025年8月現在
利用数 **12,990** 社
利用者数 **3,193,000** 人

奉行Edge 勤怠管理クラウド
※2025年8月現在
利用数 **15,150** 社
利用者数 **1,523,000** 人

奉行Edge 年末調整申告書クラウド
※2025年8月現在
利用数 **14,400** 社
利用者数 **2,715,000** 人

奉行Edge 給与明細電子化クラウド
※2025年8月現在
利用数 **20,700** 社
利用者数 **3,052,000** 人

奉行クラウドと奉行クラウドEdgeの5つの強み

1

高い業務レベルに対応

今まで以上の
高品質

機能性・スピード・
操作性

2

業務環境の多様性に対応

いつでも
どこでも

テレワーク
多様な働き方対応

3

業務のデジタル化を
実現する

つながる
ひろがる

データ連携
APIエコノミー

4

プロフェッショナルの支援

職業専門家
ライセンス

専用ライセンスを
標準提供

5

DXを成功に導く

セキュリティ:OBCが提供する3つの安全・安心

多様な業務環境の提供し、業務の生産性を向上させる

1 今まで以上の高品質

従来の奉行シリーズより、機能性・スピード・操作性すべてにおいて、「今まで以上」を実現しています。

従来の機能性に自動化機能を加え 精度と生産性を向上



今までと同じ業務ができる安心に加え、自動化など、「業務のデジタル化」の実現により今まで以上に速く・正確な業務が可能になります。

業務のプロも納得のスピード

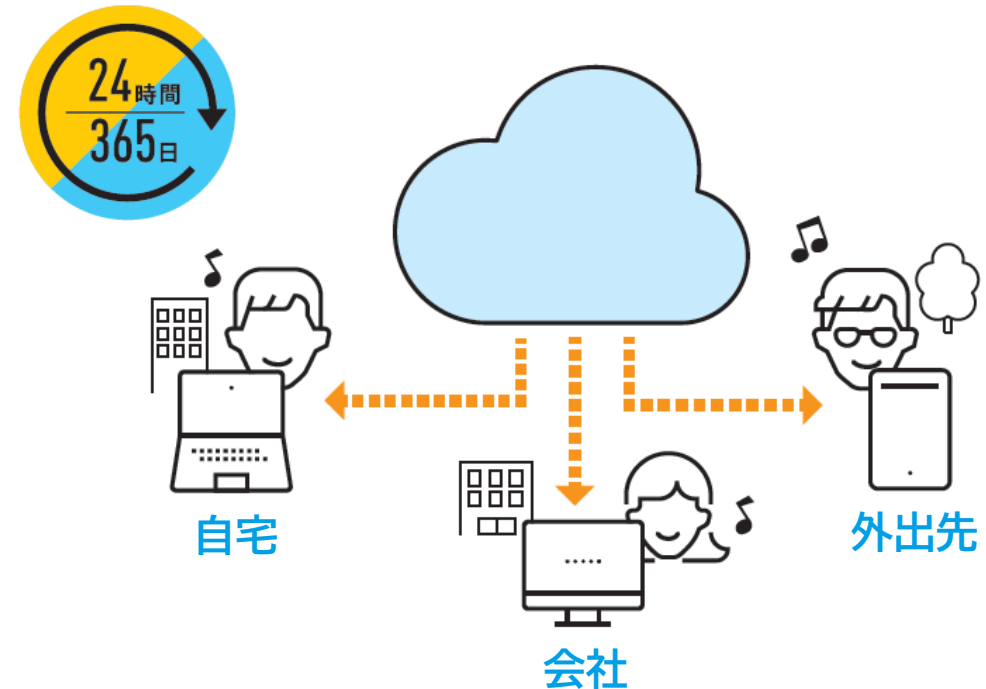


高速処理を実現するAzure SQL Database (Premium)および、操作性を飛躍的に高めるWPF※の採用により、快適な業務を実現します。
※Windows Presentation Foundation

2 いつでも・どこでも

奉行クラウドは、いつでも、どこからでも利用でき、多様な働き方に対応します。

リモートワーク、在宅勤務／テレワークなど、時間や場所にとらわれない働き方に対応

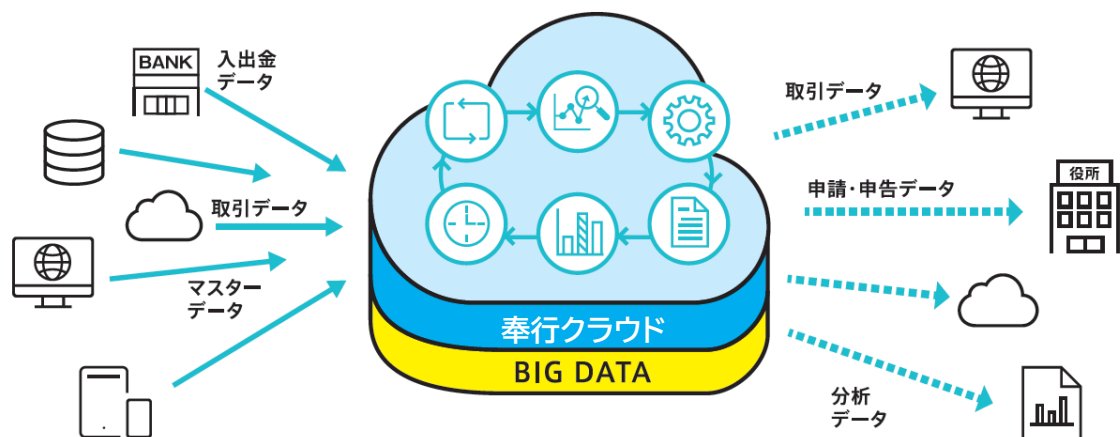


業務をデジタル化(DX)し、より高いレベルで企業をサポートする

3 つながる・ひろがる

システムの垣根を超えて、かんたん・シームレスにデータを自動連携し、幅広い業務をデジタル化します。

データが自動的につながり、
データ受入や入力作業が不要に

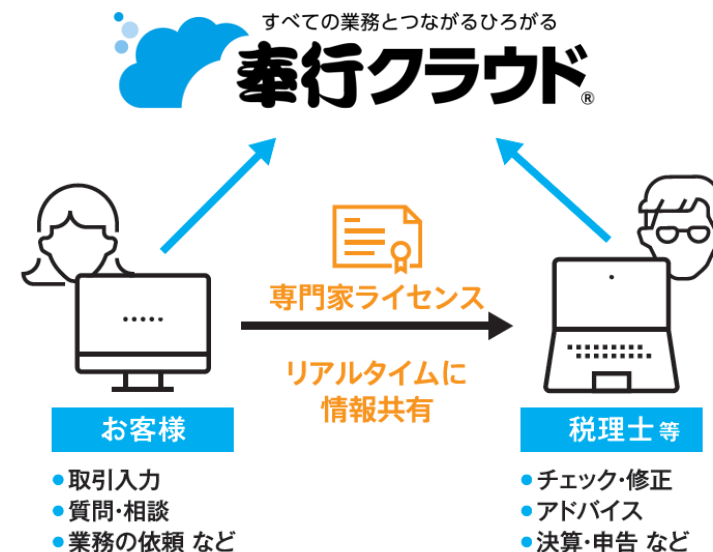


<https://www.obc.co.jp/bugyo-cloud/apiservice>

4 職業専門家ライセンス

税理士・社労士などの職業専門家と一緒に利用できる「専門家ライセンス」を標準提供しています。

プロの支援を受けながら
業務が可能に



様々な専門家にライセンスを提供可能

- 会計士・税理士
- 社労士
- コンサルタント
- 融資担当
- 投資家

5 セキュリティ:OBCが提供する3つの安全・安心

① Azure(クラウドプラットフォーム)

BCP(事業継続計画)の確実性を高める“強固な基盤”

世界最高水準のセキュリティ対策

米国国防総省に次ぐ攻撃情報を学習し続ける防御網
日本ガバメントクラウド選定:政府が認めた共通利用クラウド環境



ゼロトラスト設計 分離設計(*)・高度な監視

アプリとAzure管理層の権限を完全分離 マルウェアの権限悪用を防止(*)
毎日6兆件以上の脅威シグナルをグローバルに分析しリアルタイムに対応



自動更新 OS・ミドルウェアの自動更新(*)

基盤 OS・ミドルウェアの更新を最速で自動適用し常に最新状態を維持

東日本データセンターを
中心に、西日本のデータ
センターをバックアップ
センターとして活用

国内限定 東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管
東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化

※ Azure PaaS活用による効果



② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

アクセス認証 OBCiD・多要素認証

多要素認証を組み合わせなりすましを防止・シングルサインオン・顔認証



暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護



24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

WAF(Web Application Firewall)+FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除

③ OBCが提供するセキュリティ (国内最高レベルの開発・管理・運用体制)

ISM MAP
(2025年6月末登録完了)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

SOC1/SOC2
(内部統制/セキュリティ)

国際会計基準による第三者監査評価



第三者監査評価
大手監査法人による監査

ISM MAP/SOC1/SOC2は監査法人監査必須

ASMツール
最高グレード「評価A」を取得

外部公開資産のサイバー攻撃耐性を評価

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。

業務に精通したスタッフが常時300名体制で対応

サポートサービス

●会員専用ヘルプデスク

操作上の疑問点や不明点などのお問い合わせに専任のスタッフが対応し、奉行シリーズの運用をサポートします。



さまざまな方法でお問い合わせいただけます

●リモートサポート

遠隔で同じ画面を操作しながらご案内。電話やWEBなどでは伝わりづらい内容も画面でやりとりできるので、問題を早期に解決できます。



お客さま



..... 同じ画面を表示して
操作案内



サポートスタッフ

平日9:30～17:00(24時間365日受付)

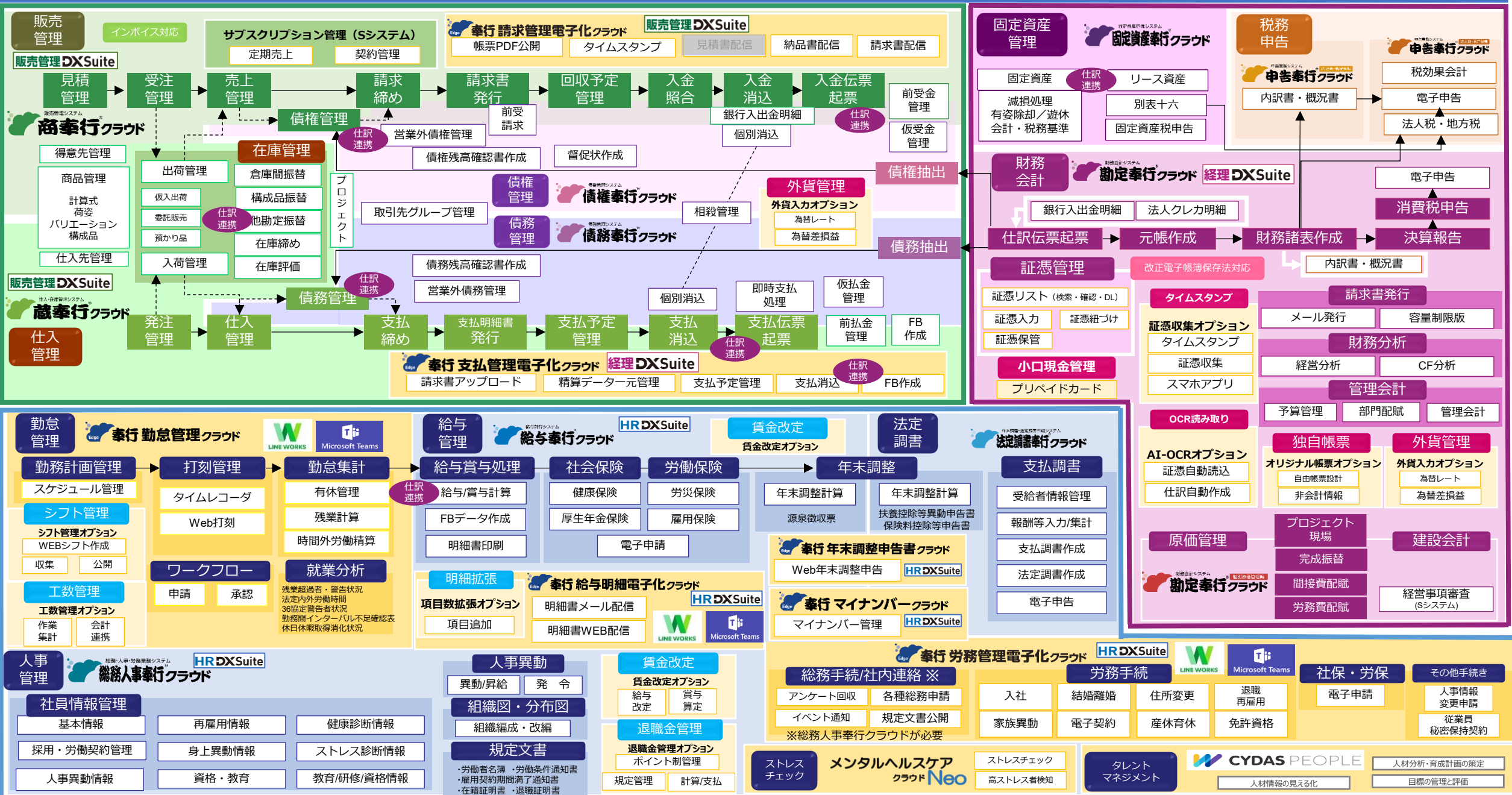
※17:00までのお問い合わせはその日中に必ずご連絡

※17:00以降および弊社休業日のお問合せは翌営業日以降の対応



サポートサービスは、**奉行クラウドシリーズの利用料のみ**でご利用いただくことができます。

奉行シリーズ システム全体鳥瞰図



人事労務系サービス 全体鳥瞰図

総務人事部門のためのデジタル化



マークのあるサービスは **奉行クラウドHRDXSuite®** に含まれます

従業員のためのデジタル化

【労務管理】

入社から退職までの手続きをすべてデジタル化

奉行Edge 労務管理電子化クラウド

入社	退職
結婚	離婚
産休	育休
転勤	高齢雇用継続給付
住所変更	通勤経路変更
連絡先変更	家族異動
口座変更	免許・資格
電子申請	

入社・異動情報

社員情報

マイナンバー情報

【マイナンバー管理】

企業内すべてのマイナンバー業務をデジタル化

奉行Edge マイナンバークラウド

収集	管理
利用	廃棄

【総務・人事・労務】

あらゆる総務・人事・労務業務を定型化しデジタル化

総務・人事・労務業務システム 総務人事奉行クラウド

社員管理	組織管理	人事異動	組織改編	雇用契約管理
分析レポート	AI社員検索	在職証明書発行	規程管理	

【勤怠管理】

打刻・申請から分析・マネジメントまでの勤怠管理業務をすべてデジタル化

奉行Edge 勤怠管理クラウド

打刻	申請・承認	残業集計
休暇管理	シフト管理	工数管理
コンプライアンス遵守	タイムマネジメント	健康マネジメント

【給与】

給与計算から社会保険・年末調整までの給与業務をすべてデジタル化

給与計算システム 給与奉行クラウド

給与・賞与	算定基礎
月額変更	年末調整
労働保険	電子申請

【法定調書提出】

支払調書・合計表作成から申告までの法定調書提出業務をすべてデジタル化

年末調整・法定調書作成システム 法定調書奉行クラウド

受給者管理	年末調整
源泉徴収票	支払調書
法定調書合計表	電子申告・電子納税

明細情報

社員情報

申告情報

社員情報

申告情報

【給与明細配付】

給与業務に関わる書類配付業務をデジタル化

奉行Edge 給与明細電子化クラウド

給与・賞与明細	源泉徴収票	標準報酬決定通知書
特別徴収税額通知書	保険料決定通知書	年末調整通知書

【年末調整】

申告書の配付から給与システム入力までの全ての業務をデジタル化

奉行Edge 年末調整申告書クラウド

配付・説明	記入・提出	回収・催促
確認・差戻し	給与システムへの入力	申告書の保管

会計税務系サービス 全体鳥瞰図

インボイス制度 対応 電子帳簿保存法 対応

請求書の送付作業があつという間に終わる！
奉行Edge 発行請求書DXクラウド

請求書作成
PDF自動取込 CSV自動取込 請求情報入力

請求書発行
メール配信 WEB配信 Peppol

入金照合・消込の時間削減と確実な債権回収を実現！
債権奉行クラウド

債権管理
債権計上 回収予定表 債権残高一覧表

入金管理
入金消込 手形・でんさい 前受金・仮受金

支払業務と債務残高管理の生産性と正確性をピンポイントで向上！
債務奉行クラウド

債務管理
債務計上 支払予定表 債務残高一覧表

支払管理
支払消込 手形・でんさい 前払金・仮払金

請求書の受領から支払まで一気通貫でデジタル化！
奉行Edge 受領請求書DXクラウド

請求書受領
WEB/スマホ ワークフロー AI-OCR

支払管理
支払予定表 支払状況確認 FBデータ作成

契約書を取り込むだけでAIが瞬時にリースを識別
奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド

リース識別
リース自動判定 識別データ出力

固定資産管理の実務に網羅的かつ細やかに対応し、精度と生産性を向上！
固定資産奉行クラウド

固定資産管理
移動/除去/売却 減価償却費計算 リース資産管理

会計処理・決算/申告業務
減損会計 償却資産税申告 別表十六

はやく正確な月次決算で今よりも”一歩先”の経理へ！シェアNO.1のクラウド会計サービス
勤定奉行クラウド

取引入力
仕訳入力 Excel取込 請求書作成
銀行入出金明細取込 キャッシュレス明細取込 外貨建取引管理
証憑保管 仕訳チェック 仕訳承認

会計処理
元帳 試算表 対比/推移表
部門配賦 管理会計 予算管理
管理会計 決算報告書 消費税申告
内訳書作成 概況書作成 独自帳票作成

中堅・上場企業要件対応
セグメント管理 任意明細区分 仕訳承認(複数階層)
IFRS対応 決算仮締め/本締め グループ管理会計

業種対応
原簿管理 勤定奉行クラウド プロジェクト情報管理 プロジェクト原簿管理 間接費/労務費配賦 共通原簿配賦
建設会計 勤定奉行クラウド 工事情報管理 工事原簿管理 間接費/労務費配賦 経営事項審査

管理連結
奉行AIエージェント 連結会計支援クラウド 個社データ収集 内部取引突合

あらゆるデータがつながり申告業務全体の生産性を向上！
申告奉行クラウド

申告書作成 地方税納付 電子申告 税効果会計

請求データ

相殺

自動突合

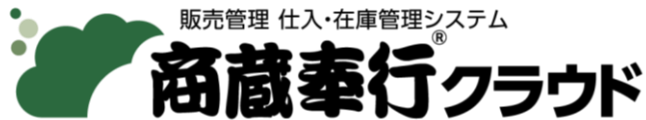
データ連携

仕訳連携

仕訳連携

会計データ連携

仕訳連携



ノンカスタマイズで販売管理を網羅し
これからずっと使えるSaaS型販売管理ソフト

販売管理のデジタル化

見積・受注・売上管理			請求処理／債権・入金管理		
見積管理	受発注処理	取引金額自動計算	請求締め処理	入金消込	請求書発行
出荷指示	商品管理	売上処理	請求書電子化	本社一括入金	回収・催促
サブスク管理	直送管理	一括売上確定	回収予定管理	入金情報管理	

集計・分析・他システム連携

集計表	推移表	対比表	予算管理
取引実績一覧表	ABC分析	奉行連携	API連携

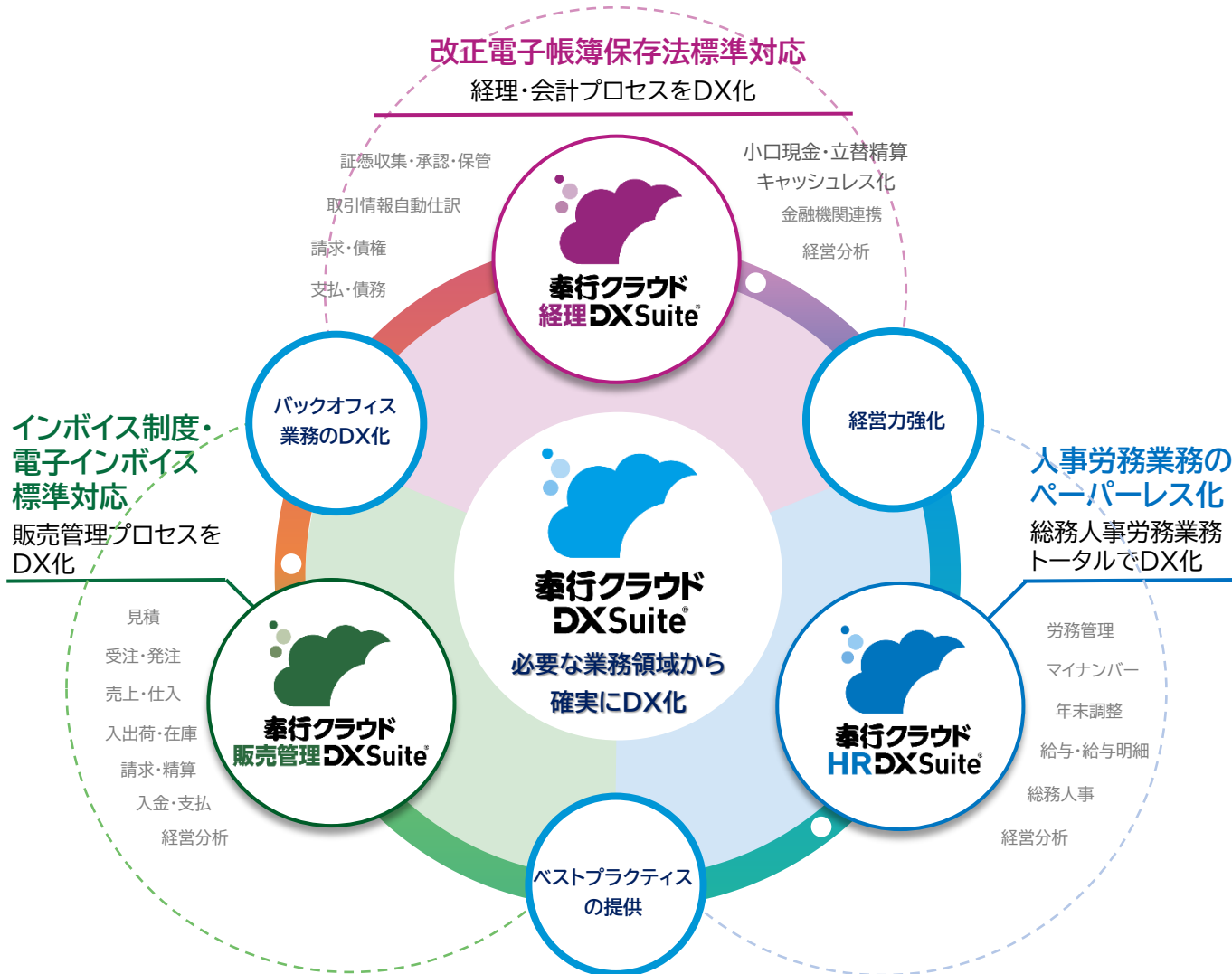
仕入/在庫管理のデジタル化

発注・仕入管理／在庫管理				精算・支払処理	
発注処理	在庫照会	一括発注	構成品管理	精算締め処理	支払明細書発行
商品管理	引当処理	仕入処理	ロット管理	支払予定管理	支払消込
ロケーション管理	一括仕入確定			FBデータ作成	

業種別対応

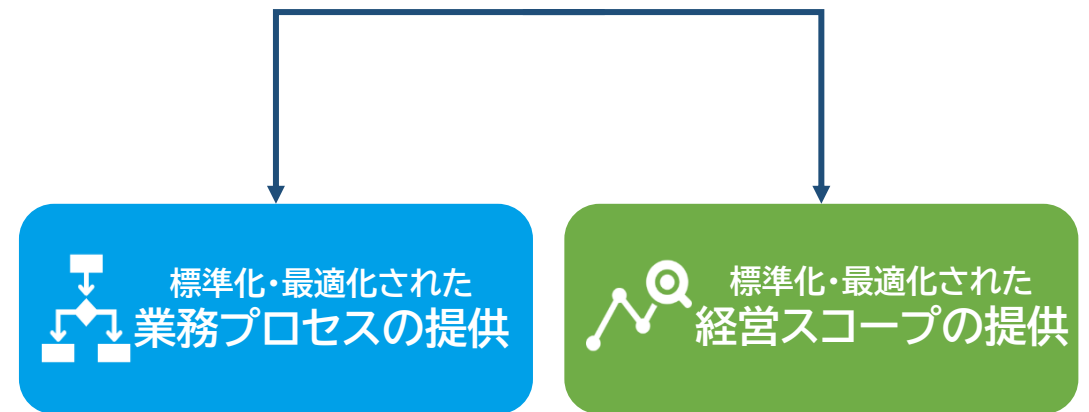
アパレル バリエーション管理 (色・サイズ)	飲料・酒販 荷姿管理 (バラ・ケース・ボール)
食品 荷姿管理 (バラ・ケース・ボール)	文具・事務用品 バリエーション管理 (色・型番)
鉄鋼 重量計算	木材 単材積計算・ 総材積計算
運送 走行距離計算	塗装 総面積計算

最新制度をもれなく標準搭載し、経営力を強化する「奉行クラウド DX Suite」



奉行クラウド DX Suiteは、業務と経営判断を高度化するためのベストプラクティスによってバックオフィス業務をDX化し、経営力の強化に貢献します。

奉行クラウド DX Suite[®] = 時代に整合したベストプラクティスの提供



- ビジネスプロセスが短縮される
- 目視のチェックや手入力がなくなる
- 誰でも繰り返し同じ結果が出せる
- リアルタイムに企業の現状を把握できる
- 多角的な視点で情報提供できる
- データの活用ができ、次のアクションがわかる

奉行クラウドサービス連携マップ

株式会社 オービックビジネスコンサルタント

経理・財務会計

HRMOS 経費 e. Keihi
ハーモス

NI Collabo 360

経費BANK

MAJOR FLOW
パナソニック ネットソリューションズ株式会社

V-ONEクラウド

B to B 請求書
プラットフォーム

請求書の達人
支払管理の達人

TOKIUM インボイス

PayManager
Slip Input System

bixid

会計業務DX
Manage AC
奉行専用ERPフロント

手形の達人
for 奉行クラウド

COURAGEUX
クラージュユーエックス

Workflowll

WizLabo
Data Driven Disclosure

BTrex
連結会計

クラウド
連結会計ソフト

その他連携

経費精算

請求・支払

Convi.BASE
コンビベース

Bill One
powered by Sison

販売管理

送助

伝助 EOS

伝助

伝助 かん Cloud

販売管理

楽楽B2B
by NETOP SUPPORTERS

makeshop by GMO

EC-JESQ

ApeosPlus desola
Technology by AI inside

CB4
CloudBot solution

LogiLite

ハンディ上手

出入荷検品NAVI

倉庫管理

楽楽明細
よりよく、寄り添う 請求書発行クラウド

EcoChange

口座振替データ連携
ソリューション

速販UX

SmartF

旗振~hata free~

WARM+

SalesQuoteAssistant

ロジザードZERO

POS上手

すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド

人事労務

勤労の獅子

ジョブカン
勤怠管理

HRMOS 勤怠
ハーモス

BIZWORK+

クラウド勤怠管理システム
AKASHI

クラウド勤怠管理サービス
タイムレコーダー

Time & Air
AMANO

CC-BizMate

Xronos
PERFORMANCE

cLouzA

Dr.オフィス | LookJOB2

顔パス 勤怠
顔パスストレスチェッカー

Touch On Time

TeamSpirit 勤怠

セコムあんしん勤怠管理サービス

顔認証打刻
for 奉行Edge勤怠管理クラウド
powered by クロコ

MaLionCloud

kincone

タイムログDX

ADVANCE勤怠クラウド

office DX

SHIFTEE

Logitech
認証ネットワークデバイス

KING of TIME

LYSITHEA

PCLogger

PitTouch Pro3
ピットタッチプロ3

MINAGINE

オフィスステーション

HRMOS 採用
ハーモス

DX 人事評価
シートDX

カラレコ

Qolus

Pit-23

Microsoft Teams

iDors
アイドース

SUZAKU

manage 勤怠

ShiftMAX

@nyplace

WEB給

sai*reco

kaonavi

e-AMANO

e-AMANO

らくらく通勤費

Charlotte
電子申請・e-インボイスソリューション

労務・タレマネ・その他

COMPANY

Web給金帳 Cloud

メンタルヘルスケア
クラウド Neo

Chalaza

Shared Mee

その他

ZAC

MAGES

Aladdin Office

賃貸革命10

UM SaaSCloud

rBOM

その他連携

SKELTON
不動産管理スケルトンパッケージ

帳票テンプレート
帳票設計プラットフォーム

本塚
工事原価管理システム
この丸EX v2

スマレジ

POSレジ

ビルメンツ

Autoジョブかん

A'staff Cloud

工事原価Pro for クラウド

原価管理

どっと原価 NEO
シリーズ

TRADING R2

楽楽販売
よりよく、寄り添う 販売管理クラウド

Tempo Visor

BCPOS

レッツ原価管理
Go2

Workspro
WP

売上原価Pro for クラウド

CE+EXECUTE-MA

KAREN CORE

※ 掲載されている各サービスの商品名称及びロゴは各社の商標または登録商標です。

※一部、今後連携予定のサービスを含んでいます。

※2025年5月現在の情報となります。

連携詳細はWEBで随時更新中！

今すぐチェック



サステナビリティ

価値創造プロセス

ミッション

業務にイノベーションを お客様に感動を

マテリアリティ

ITによる
イノベーション
の推進

環境に配慮した
事業活動の推進

ダイバーシティ
経営の推進

責任ある
企業活動の実行

経営資本 (インプット)

人的資本

- 最適なソリューションを届けるための高度なIT人材
- 0から教育する体制

知的資本

- 創業時から積み上げたノウハウ
- 知的財産 (特許、実用新案権等)

社会・関係資本

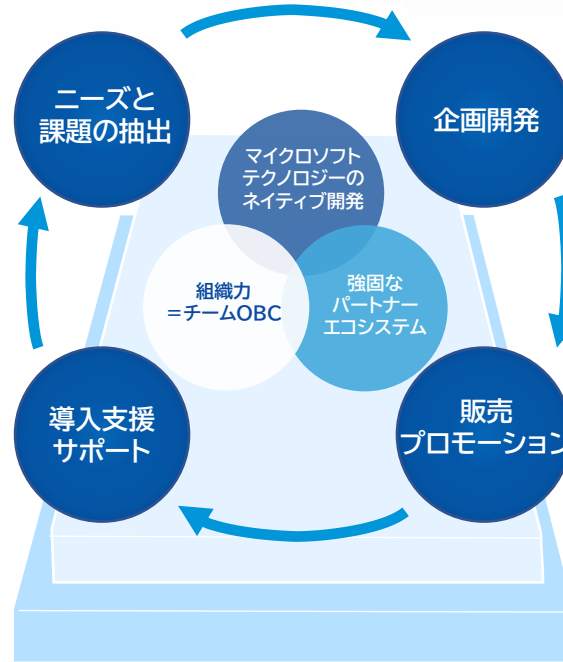
- パートナーエコシステム
- 新しい価値を共創する他社ソリューションとの連携

製造資本

- お客様、パートナーを支える国内のサービス拠点
- 製品開発の内製化
- 安定系な製品開発を行うための開発体制

財務資本

- 持続的な価値創出につながる強固な財務基盤



アウトプット

- バックオフィス向け業務サービスによる生産性向上
- 従業員向け業務サービスによる業務のデジタル化
- 導入支援サービスによる導入、運用の支援
- サポートサービスによりお客様の安心安全な運用を支援
- パートナーエコシステムの強化

提供価値 (アウトカム)

- ITによるイノベーションの推進
- 労働人口の減少による人材不足社会に向けた対応
- 持続可能な経済の好循環
- 従業員が働き甲斐のある職場の実現
- 長期的な企業価値の向上
- クリーンな地球環境の実現

社会貢献

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を推進しよう
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 持続可能な消費生活
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

ステークホルダー

顧客











株主

ビジネスパートナー

地域社会

環境

4つの重要テーマと14のマテリアリティ

重要テーマ	マテリアリティ	行動指針	取り組み	SDGs
ITによる イノベーション の推進	品質・お客様満足度の向上	高品質を保ち、常にニーズに対応した製品・サービスを提供し続けます	お客様の要望を製品へ反映することによる利便性の向上、営業・開発メンバーによる充実したサポート体制の構築、製品開発の内製化による高品質なサービスの供給	  
	様々な企業、団体とのパートナーシップ構築による共創	企業の課題解決にパートナーと共に取り組み、共存共栄を目指します	パートナーエコシステムの構築、他企業や諸団体と連携	
	情報セキュリティニーズへの対応	企業が安心してご利用頂けるセキュリティ環境を提供します	マイクロソフトテクノロジーによる世界最高水準のセキュリティの確保 高水準なセキュリティ体制の構築(SOC2® Type2報告書の取得) 情報セキュリティに関する社内教育	
	労働人口減少の解決に貢献する製品・サービスの提供	生産性の向上に寄与する製品・サービスの提供を目指します	業務システム高度化による業務の自動化、クラウドによるリモートアクセス推進による働き方の多様化に対応、APIによる様々な業務サービスとの連携	
ダイバーシティ 経営の推進	従業員の健康と安全の確保	従業員が健康で安全に働ける環境をつくります	胃カメラ・インフルエンザ予防接種費用や婦人科オプション検査費用の会社負担、産業医による健康講話の実施、防災グッズの配布、新型コロナウイルス対策のための在宅勤務・時差出勤、ストレスチェックを活用したメンタルヘルスケア	   
	ワークライフバランスの推進	従業員が仕事と家庭の両立を実現し、活躍しながら長く働き続ける環境をつくります	長時間労働の抑制、育休取得の推進、時短勤務期間を小学校6年生まで延長	
	多様な人材の活用を推進	オープンでチャンスがある職場づくりを目指します	男女平等の採用・人事制度、障害者雇用、障がい者に対する定着支援	
	教育・研修活動の充実	従業員の成長をサポートします	スキル研修やマインド研修の定期的な実施、従業員自らが率先して学べる環境の提供	
環境に配慮した事業活動の推進	業務のデジタル化による資源削減の推進	業務をデジタル化することによる紙の削減を目指します	業務をデジタル化できるクラウドサービスの提供、社内業務のデジタル化を推進	 
	CO2排出量の低減	オンラインやクラウドサービスの活用により、環境負荷の低減に努めます	リモートデモやリモートサポート、オンラインカンファレンスによるデジタルマーケティング等により移動を低減、クラウドサービスの活用によるサーバー台数の削減	
責任ある 企業活動の 実行	ステークホルダー(顧客、株主、ビジネスパートナー、地域社会、環境)との積極的な対話	ステークホルダーの声を積極的に取り入れるオープン経営に努めます	ホームページ等を通じた適切な情報開示、お客様窓口の設置、社内SNS・各種ツールを利用した情報提供、社内イベントの開催	
	BCPの推進	災害時に損害を最小限に留めつつ、事業の継続を維持できる体制を構築します	災害対策委員会の設置、災害時対応マニュアルの策定 安否確認サービスの導入、防災訓練の定期的な実施	
	法令遵守	役員・従業員一人ひとりが、法令や社内ルールなどを遵守し高い倫理観に基づいた企業活動を行います	コンプライアンスマニュアル・手引きの作成と徹底(反社会的勢力、下請法、腐敗防止等)、個人情報保護方針(プライバシーポリシー)の遵守、ハラスメント防止ポリシーの設定、コンプライアンスに関する社内教育	
	企業経営のチェック体制の構築	経営における透明性の向上と経営目標の達成に向けた経営監視機能を強化します	内部統制委員会の設置、JSOX(内部監査)の実施、内部通報制度の設置、財務報告の信頼性や情報セキュリティの管理体制の強化(SOC1® Type2、SOC2® Type2報告書の取得)、コーポレートガバナンスコードへの対応	

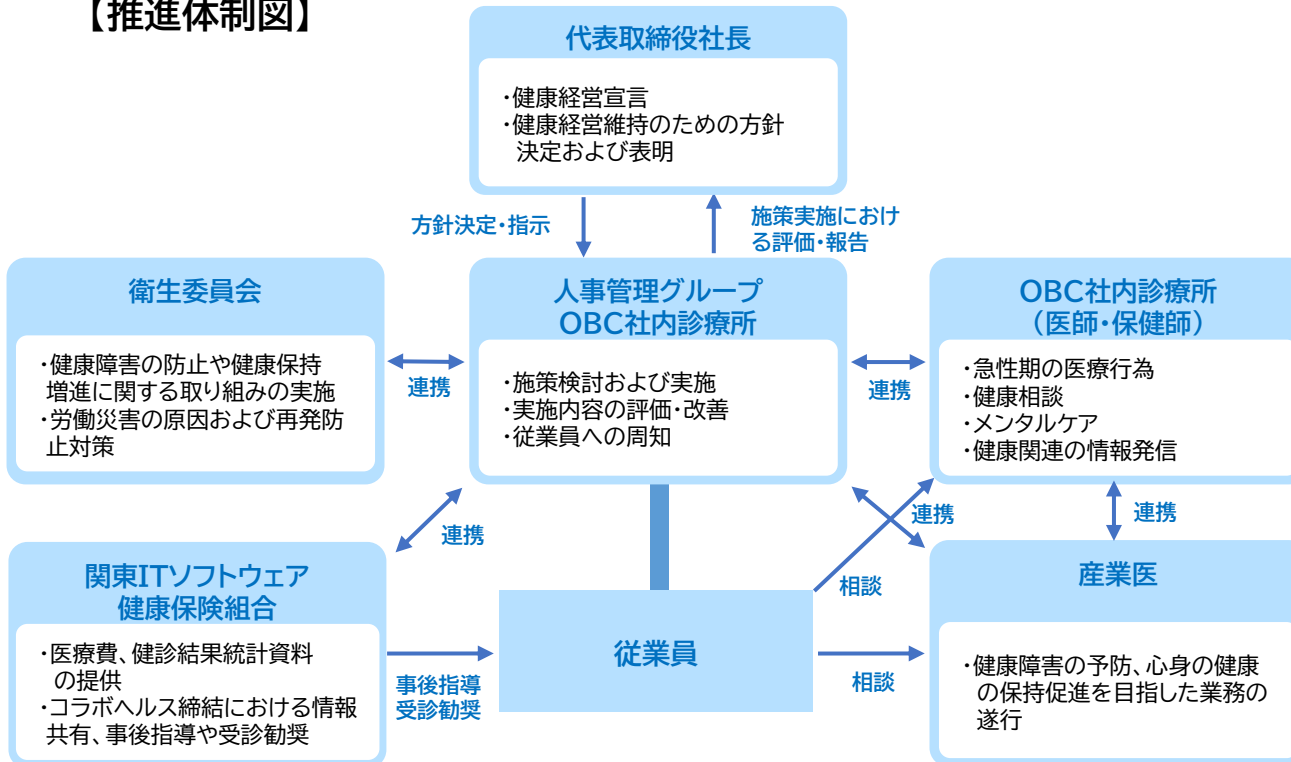
		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
環境	Scope1 排出量(t-CO2)	7.21	8.32	9.24	10.19	集計中
	Scope2 排出量(t-CO2)	881.67	905.74	900.13	957.66	集計中
社会	社員数(名)	908	918	941	995	1,066
	女性社員比率(%)	36	36	38	38	39
	採用者数(名)	65	68	90	87	104
	平均勤続年数(年)	11.4	11.8	11.8	11.8	11.7
	離職率(%)	6.4	6.1	6.3	3.2	1.9
	育児休業取得者数(名)	42	58	43	42	42
	男性従業員の育児休業取得率(%)	—	97	89	114	90
	育児短時間勤務制度利用者数(名)	78	69	78	78	80
	年次有給休暇取得率(%)	65	75	81	74	74
	一人あたり月平均残業時間(時間)	18.5	20.4	24.0	24.1	23.0
ガバナンス	取締役合計数(名)	9	9	9	9	6
	社外取締役数(名)	5	5	5	5	4
	取締役会開催数(回)	7	7	9	8	※
	社外取締役の取締役会平均出席率(%)	91	97	84	97	※
	社外監査役の取締役会平均出席率(%)	100	100	100	100	※
	コンプライアンス研修(eラーニング)受講率(%)	100	100	100	100	100
	情報セキュリティ教育受講者率(%)	100	100	100	100	100

健康経営宣言

オービックビジネスコンサルタントは、社員が心身ともに健康で、能力を最大限に発揮することが、企業の発展に繋がると考えます。

この考えのもと、時代の変化に応じた健康増進施策の検討・推進を会社、社員、その家族が一体となって取り組み、オープンでフェアな働きやすい環境づくりを目指します。

【推進体制図】



「健康経営銘柄 2026」に初選定
「健康経営優良法人 2026(ホワイト500)」にも2年連続で認定

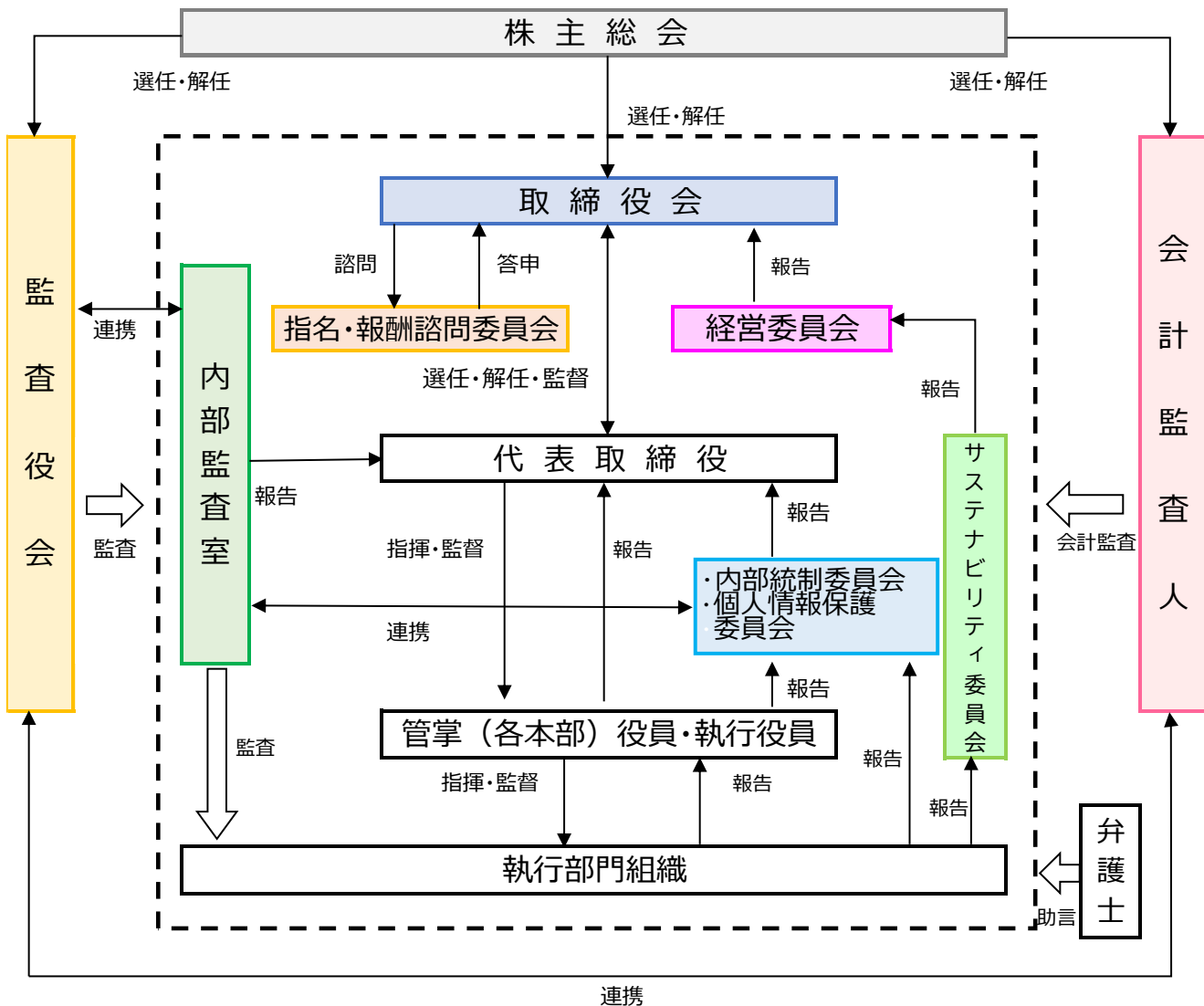
■「OBC社内診療所」と最近の健康経営への取り組みについて

2022年4月に1000人規模の企業では数少ない、医師が常駐する「OBC社内診療所」を開設し、社員に対して安心・安全と健康を提供する存在として、「社員とその家族の健康カウンセラー」、「健康の問題に向き合う診療機関」、「予防・未病への取り組みを行う専門家」の3つのサービスの提供を開始しました。



「OBC社内診療所」は、従来の健康管理室とは異なり、クリニックとしての機能を持つ施設です。また、大学病院の地域医療連携協力機関としても登録されており、これにより緊急時には大学病院への紹介／連携が迅速に行われ、社員ならびにそのご家族は高度かつ専門的な治療を受けられる体制となっています。

(企業統治の体制)



株主総会

会社の最高意思決定機関であり、会社法で規定する事項及び定款で定めた事項について決議する。

取締役会

当社の企業価値を高めるための業務執行の決定機関であり、経営監督機関として業務執行機能の監督を行う。

指名・報酬諮問委員会

取締役会からの諮問に応じて、指名及び報酬等に係る事項について審議し、取締役会への答申を行う。

経営委員会

経営に関する基本方針、戦略を討議し、決定するとともに、経営執行に関する重要事項を決定する。

サステナビリティ委員会

サステナビリティに係る取り組みの議論を行う。

監査役会

監査機能を担い、会社の経営方針に則り、監査役監査基準を指針とし、会社経営の目標達成、経営管理の改善・向上に資する監査を実施する。

内部統制委員会・個人情報保護委員会

組織横断的対応かつ継続的な監視を目的として、監査結果を取締役会及び監査役会へ報告する。

内部監査室

社内の会計監査、業務監査、業務の改善提案を行うとともに、監査結果を監査役会へ報告を行う。

会計監査人

監査役及び内部監査人は、会計監査人の助言や提言をもとに内部統制の状況等を把握し、監査役会へ報告を行う。

